

出雲市自立支援医療費助成制度（市助成）の見直しについて

1 見直し理由

自立支援医療は、障害者総合支援法に基づき、心身の障がいを取り除くまたは軽くするための医療に対し、医療費の給付を行う制度である。この制度は、平成 18 年の改正によって、医療費の負担を 1 割とし、自己負担上限額を所得に応じた負担となるよう変更したことによって、低所得者の自己負担が増加した。

この制度改正に伴い、本市では、一時的な激変緩和措置として、下表のとおり市独自の自己負担限度額を設定し、自立支援医療費の上乗せ助成（以下「市助成」という）を開始した。

市助成の開始から 15 年が経過し、激変緩和措置としての目的を達したため、市助成を廃止することとし、これに向けて段階的に助成対象の見直しを行う。

(1) 育成医療の 1 か月の自己負担上限額（18 歳未満が対象）

所得区分		住民税非課税世帯		住民税課税世帯		
		低所得 I	低所得 II	中間所得 I	中間所得 II	一定所得以上
自立支援医療 (国)	重度かつ継続 該当※1	2,500 円	5,000 円	5,000 円	10,000 円	20,000 円
	重度かつ継続 非該当※2	2,500 円	5,000 円	5,000 円	10,000 円	対象外
市助成	通院	1,000 円				1,000 円 (重継続のみ)
	入院※3	2,000 円				2,000 円 (重継続のみ)

(2) 更生医療の 1 か月の自己負担上限額（身体障がい者手帳を所持している 18 歳以上が対象）

所得区分		住民税非課税世帯		住民税課税世帯		
		低所得 I	低所得 II	中間所得 I	中間所得 II	一定所得以上
自立支援医療 (国)	重度かつ継続 該当※1	2,500 円	5,000 円	5,000 円	10,000 円	20,000 円
	重度かつ継続 非該当※2	2,500 円	5,000 円	医療保険の 自己負担限度額		対象外
市助成	通院	3,000 円		6,000 円		6,000 円 (重継続のみ)
	入院※3	5,000 円		10,000 円		10,000 円 (重継続のみ)

※1 重度かつ継続該当：国が定めた人工透析や抗免疫療法などの長期的な治療が対象

※2 重度かつ継続非該当：ペースメーカー埋込み術やそしゃく機能障がいの歯科矯正術などの治療が対象

※3 入院：入院と通院が共にある場合を含む

2 見直し内容（案）

(1) 令和 5 年 7 月診療分から助成対象の見直しを行う。

①所得と負担の公平性の観点から、自立支援医療の所得区分の「一定所得以上（年収概ね 810 万円以上）」を対象外とする。

②激変緩和措置として開始したことを踏まえ、手術を中心とした短期的な治療である「重度かつ継続非該当者」を対象外とする。

(2) 令和 8 年 7 月診療分から制度を廃止する。

身体障がい者にかかる社会参加促進事業の見直しについて

1 見直し理由

所得と負担の公平性の観点から助成対象者に所得要件を設けるとともに、社会参加の促進を図るため自動車運転免許の取得にかかる助成対象者を拡充する。

2 見直し内容（案）

（1）身体障がい者用自動車改造費助成制度

①操作系改造（上限 10 万円）

○対象者

<現行> 市内に住所を有する在宅の運転免許証を有する身体障がい者

<改正> 現行の条件に所得要件を設ける。

特別障がい者手当と同様の所得制限限度額を超えない世帯に属する者

（本人所得額 360 万円、配偶者・扶養義務者所得額 628 万円）

②乗降系改造（補助率 2/3、上限 40 万円）

○対象者

<現行> 市内に住所を有する在宅の肢体不自由の程度が 2 級以上の身体障がい者

<改正> 対象者の所得状況により助成上限額を変更する。

・特別障がい者手当と同様の所得制限限度額を超えない世帯に属する者

（本人所得額 360 万円、配偶者・扶養義務者所得額 628 万円）

⇒補助率 2/3、上限 40 万円（変更なし）

・上記の所得要件を満たさない者⇒補助率 2/3、上限 20 万円

（2）身体障がい者自動車運転免許取得費助成制度（補助率 2/3、上限 10 万円）

○対象者

<現行> ・運転免許を取得後 1 年以内の者

・申請時点において 6 か月以上市内在住者

・免許取得により社会活動への参加に効果があると認められる者

・身体障がい者手帳所持者

<改正> ・精神障がい者保健福祉手帳所持者及び療育手帳所持者を対象者に

加える。（拡充）

・現行の条件に所得要件を設ける。

特別障がい者手当と同様の所得制限限度額を超えない世帯に属する者

（本人所得額 360 万円、配偶者・扶養義務者所得額 628 万円）

3 適用時期

令和 5 年 4 月申請分から適用する。

次期障がい（児）福祉計画策定のための障がい福祉サービス等の
利用状況・ニーズ把握調査の実施及び調査内容の検討

次期障がい（児）福祉計画策定のための障がい福祉サービス等の
利用状況・ニーズ把握調査 (P. 1)

令和元年度調査から新設／削除した設問項目 (P. 2)

障がい者ニーズ把握等の利用者アンケート (P. 3～P.17)

障がい者ニーズ把握等の法人アンケート (P.18～P.23)

障がい者ニーズ把握等の提供事業所アンケート (P.24～P.37)

次期障がい（児）福祉計画策定のための障がい福祉サービス等の 利用状況・ニーズ把握調査

1 実施目的

第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画（令和6年度～令和8年度）策定のために障がい者（児）や障がい福祉サービス提供事業者のニーズを把握する。

調査結果を基に、障がい福祉サービスや地域生活支援事業の効果的な運用・施策の検討を行う。

2. 事業内容

（1）調査内容

①障がい福祉サービス等の利用状況等

- ・移動支援事業・障がい者福祉タクシー制度、日中一時支援事業、地域生活支援拠点整備事業（ささえ愛サポート）、障がい福祉サービスの利用状況・利用希望
- ・事業者の今後の予定等（新規開設・廃止・休止、コロナの影響による利用状況の変動）

②地域生活支援事業の効果的な取組を検証

③地域資源に関する調査

（2）調査対象

①サービス利用者（児）・手帳所持者から抽出（年齢に関わらずサービス利用状況及び居住地等についてバランスよく条件を設定し抽出する）

1,000人〈調査項目：40項目〉

※前回調査（令和元年度）1,000人〈調査項目：41項目〉

②市内すべての障がい福祉サービス提供事業者

75法人〈調査項目：10項目〉

※前回調査（令和元年度）69法人〈調査項目：9項目〉

168事業所〈調査項目：34項目〉

※前回調査（令和元年度）事業所〈調査項目：31項目〉

3. スケジュール

令和4年	5月	第1回施策推進協議会	調査内容協議
令和4年	8月		調査実施
令和4年	9月		調査集計・分析
令和4年	11月	第2回施策推進協議会	調査結果報告
令和4年	12月		中間報告書作成 国提出
令和5年	3月	第3回施策推進協議会	報告
			最終報告書作成 国提出

【令和元年度調査から新設／削除した設問項目】

1. 新設した設問項目

(1) 利用者アンケート

設問項目	理由
問 10(P5) 休日の日中をどのように過ごしているか	休日の過ごし方について、現状と課題を把握することで、地域資源の発掘につなげるため
問 11(P5) 休日の過ごし方で困っていることがあるか	
問 12(P5) 新型コロナウイルス感染症予防のために、外出を控えたか	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、利用者にどの程度影響があったかを把握するため
問 15(P10) 新型コロナウイルス感染症予防のために、サービスの利用を控えたか	
問 16(P11) 地域生活支援拠点（ささえ愛サポート）を知っているか	事業の利用状況と今後のニーズを把握するため

(2) 法人用アンケート

設問項目	理由
問 2～問 6(P19～P20) 地域生活支援拠点（ささえ愛サポート）	事業開始から1年経過し、課題と今後の事業展開を把握するため

(3) 事業所用アンケート

設問項目	理由
問 31～問 34(P37) 新型コロナウイルス感染症による影響	新型コロナウイルス感染症が、利用者及び事業運営に影響したかを把握するため

2. 削除した設問項目

利用者アンケート

設問項目	理由
利用者の性別	性別を記載することへの配慮及びニーズ把握に影響しないため
移動支援事業の利用申請をしたことがあるか	問 20 と重複するため
移動支援事業の支援の型は、どの型か。(個別支援、グループ支援)	グループ利用者の対象者は別途把握しているため
移動支援事業を利用することによって、暮らしはよくなったか	問 27 と重複するため
障がい者福祉タクシーの予約は、いつ行うか	問 31 で予約のとりやすさを把握するため
日中一時支援事業の利用申請をしたことがあるか	問 33 と重複するため
日中一時支援事業を利用したことによって、暮らしはよくなったか	問 39 と重複するため

障がい者ニーズ把握等の利用者アンケート

【回答に当たってのお願い】

- ・封筒のあて名ご本人についてお答えください。
(このアンケート調査票で「あなた」とあるのは、あて名ご本人のことです。)
- ・ご本人が児童であったり、病気や障がい等の理由で回答できない場合は、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってお答えください。
- ・回答は、あてはまるものに直接○印をつけてください。
「その他」を選んだ場合は、その内容を()の中にお書きください。
- ・令和4年3月31日時点の状況でお答えください。

【アンケート調査票の返送】

記入したアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに令和○年○月○日(○)までに、ポストに投函してください。

【お問い合わせ先】

(1) 調査委託事業所

電話

FAX

電子メール

(2) 出雲市役所健康福祉部福祉推進課

電話 0853-21-6961

FAX 0853-21-6598

電子メール fukushi@city.izumo.shimane.jp

電子メールでのお問い合わせの際には、題名を「問い合わせ：出雲市障がい者福祉に関するアンケート調査」としてください。

1 基本項目

問1 このアンケート調査票を回答いただく方はどなたですか。(○は1つ)

1. 本人 2. ご家族等本人以外の方

このアンケート調査票で「あなた」とあるのは、封筒のあて名ご本人のことです。

令和4年3月31日時点の状況でお答えください。

問2 あなたの年齢をお書きください。

歳

問3 あなたのお住まいの地域はどこですか。(○は1つ)

1. 出雲地域 2. 平田地域 3. 佐田地域 4. 多伎地域
5. 湖陵地域 6. 大社地域 7. 斐川地域 8. 出雲市外

問4 どこで生活していますか。(○は1つ)

1. 自宅 2. 入所施設 3. グループホーム 4. 医療機関 5. その他 ()

問5 現在、あなたが一緒に暮らしている人を選んでください。(あてはまるものすべてに○)

1. 父母 2. 祖父母 3. きょうだい 4. 配偶者
5. 子ども 6. 1～5以外の方 7. いない(一人で暮らしている)

問6 あなたが持っている身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の種類と級を選んでください。

●身体障がい者手帳(○は1つ)

1. 1級 2. 2級 3. 3級
4. 4級 5. 5級 6. 6級 7. 持っていない

●療育手帳(○は1つ)

1. A 2. B 3. 持っていない

●精神障がい者保健福祉手帳(○は1つ)

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 持っていない

問7 手帳をお持ちでない方で、あなたの障がいの状況について、あてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 難病の認定を受けている
2. 発達障がいと診断されたことがある
3. 高次脳機能障がいと診断されたことがある
4. いずれもあてはまらない

問8 あなたの障がい支援区分を選んでください。(○は1つ)

障がい支援区分とは、障がいの特性や心身の状態に応じて必要な支援の度合いを示すものです。

区分1から区分6(軽度→重度)の6区分があります。(※1)

1. 区分1 2. 区分2 3. 区分3 4. 区分4
5. 区分5 6. 区分6 7. 非該当(※2) 8. 未認定(※3)
9. わからない

※1 「障がい福祉サービス受給者証」または「出雲市地域生活支援事業受給者証」をお持ちの方は、障がい支援区分の欄を見て○をしてください。お持ちでない方は、「8. 未認定」に○をしてください。

※2 非該当：市による認定手続きを受けた際に、必要とされる支援の度合いが区分1未満とされた方

※3 未認定：市による認定手続きを受けていない方

新 問12 新型コロナウイルス感染症予防のために、外出の回数を減らしたり取りやめたりしましたか。

(○は1つ)

1. 外出の回数を減らしたり取りやめた
2. 外出の回数を減らしたり取りやめたりしなかった

「1. 外出の回数を減らしたり取りやめた」を選んだ方にお聞きします。

おもにどちらへ出かけることを回数を減らしたり取りやめましたか。

2 障がい福祉サービス・地域生活支援事業

問13 あなたは、次の障がい福祉サービスを利用していますか。

また、今後利用したいですか。

(サービスごとに、現在と今後それぞれに○が1つずつ)

①訪問系サービス

●**居宅介護**：障がいのある方を対象に、居宅における入浴、排せつ、食事などの介護サービスの提供を行います。

- (現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

●**重度訪問介護**：常時介護を必要とする重度障がいのある方を対象に、居宅における入浴、排せつ、食事などの介護サービス及び外出時における移動中の介護を行います。

- (現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

●**同行援護**：移動に著しい困難のある視覚障がいのある方を対象に、外出時における移動の援護や移動に必要な情報提供を行います。

- (現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

●**行動援護**：行動に著しい困難がある知的障がい、精神障がいのある方を対象に、危険回避のための援護や移動中の介護を行います。

- (現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

●**重度障がい者等包括支援**：常時介護を必要とし、その介護の必要度が著しく高い障がいのある方を対象に、居宅介護等複数の障がい福祉サービスを包括的に提供します。

- (現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 自立生活援助：障がい者支援施設やグループホーム等から地域で一人暮らしを始めた知的障がい、精神障がいのある方等の居宅を定期的に訪問し、生活に関する助言や医療機関等との連絡調整を行うほか、利用者からの相談に対応します。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

②日中活動系サービス（※18歳未満の方は、短期入所以外は今後の利用のみ回答してください。）

- 生活介護：常に介護を必要とする障がいのある方を対象に、通所により、食事や入浴、排せつなどの介護や日常生活上の支援、生産活動などの機会を提供します。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 自立訓練（機能訓練）：障がいのある方に対して、自立した生活を営むことができるように、身体機能の維持・回復のための訓練を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 自立訓練（生活訓練）：障がいのある方に対して、自立した生活を営むことができるように、生活能力向上のための訓練を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 自立訓練（宿泊型訓練）：障がいのある方に対して、自立した生活を営むことができるように、住居の場を提供し、生活能力向上のための訓練を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 就労移行支援：一般企業等への就労を希望する障がいのある方に対して、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のための必要な訓練、求職活動に関する支援など、就職後の職場への定着のために必要な相談などの支援を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 就労継続支援A型：一般企業等への就労が困難な障がいのある方に対して、雇用契約に基づき、生産活動などの機会を提供し、就労に必要な知識及び能力の向上や維持のために必要な訓練などの支援を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 就労継続支援B型：一般企業等への就労が困難な障がいのある方に対して、継続的な生産活動などの機会を提供し、就労に必要な知識及び能力の向上や維持のために必要な訓練などの支援を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 療養介護：医療と常時の介護が必要な障がいのある方を対象に、医療機関などで機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活上の支援を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 短期入所：介護者が病気などで介護が困難になった場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ食事などのサービスを提供します。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない

(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 就労定着支援：就労移行支援等の利用を経て、一般企業等への就労をした障がいのある方が、就労に伴う環境変化により、生活リズムの調整や家計の管理などの問題が生じた際に、必要な連絡調整や指導・助言等の支援を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない

(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

③居住系サービス

- 共同生活援助（グループホーム）：地域で共同生活を行う障がいのある方を対象に、夜間や休日、共同生活を行う住居において、相談、入浴、排せつ、食事の介護などの日常生活上の援助を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない

(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 施設入所支援：障がい者支援施設に入所している方を対象に、入浴、排せつ、食事の介護、生活に関する相談・助言などの日常生活上の支援を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない

(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

④児童に関するサービス（18歳未満の方にお聞きします。18歳以上の方は、問14へ進んでください。）

- 児童発達支援：就学前の障がいのある子どもを対象に、施設に通所し、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応のための訓練などを行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない

(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 児童発達支援（医療型）：障がいのあることをも対象に、施設に通所し、日常生活における基本的動作の指導や集団生活への適応のための訓練などを行うとともに、身体の状態により、治療も行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない

(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 放課後等デイサービス：学校就学中の障がいのある子どもを対象に、放課後や夏休みなどの長期休暇中において、生活能力向上のための訓練などを行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない

(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 保育所等訪問：専門の職員が障がいのある子どものいる保育所等の施設を訪問し、集団生活に溶け込めるよう支援を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない

(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 居宅訪問型児童発達支援：重度の障がい等のために外出が著しく困難な障がいのある子どもを対象に、居宅を訪問し、日常生活における基本的動作の指導や集団生活への適応のための訓練などを行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

問14 あなたは、次の地域生活支援事業を利用していますか。

また、今後利用したいですか。

(事業ごとに、現在と今後それぞれに○が1つずつ)

- 相談支援事業：障がいのある方が地域において自立した日常生活・社会生活を送れるように、障がいのある方やその家族からの相談に応じるとともに、情報提供や権利保護など必要な支援を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 手話通訳者等派遣事業：聴覚に障害のある方の意思疎通を仲介するため、手話通訳者、要約筆記奉仕員等の派遣を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- コミュニケーション支援事業：意思疎通を図ることに支障がある障がいのある方が病院または診療所へ入院したときに、居宅介護従事者または重度訪問介護従事者を派遣します。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 移動支援事業：屋外での移動が困難な障がいのある方を対象に、社会参加やサービス提供事業所の送迎、通勤・通学など外出時の支援を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 訪問入浴事業：家庭での入浴が困難な身体に障がいのある方に対し、訪問により居宅において入浴サービスを提供します。心身の状況から清拭や部分浴も行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 日中一時支援事業：日中の一時預かりが必要な障がいのある方に対し、障がい福祉サービス提供事業所等において、預かりを行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 知的障がい者職親委託制度：知的障がいのある方を、その自立支援に熱意を有する事業経営者等の私人に一定期間預け、生活指導及び技術習得訓練等を行います。

(現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 点字・声の広報発行事業：資格に障がいのある方に対し、市の発行する広報いずも・
議会だよりを点訳または音声化したものを無料で送付します。

- (現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

- 手話通訳者設置事業：手話による意思疎通支援の充実を図るため、手話通訳者3人を
福祉推進課に配置しています。

- (現在) 1. 利用している 2. 利用していない
(今後) ア. 利用したい イ. 利用希望はない

新 問15 障がい福祉サービスまたは地域生活支援事業を利用している方にお聞きします。

新型コロナウイルス感染症予防のため、サービスの利用回数を減らしたり取りやめたり
しましたか。(〇は1つ)

1. サービスの利用回数を減らしたり取りやめた
2. サービスの利用回数を減らしたり取りやめなかった

「1. サービスの利用回数を減らしたり取りやめた」を選んだ方にお聞きします。
おもに何のサービスの利用回数を減らしたり取りやめましたか。

問16 あなたは、これからも住み慣れた地域で生活したいですか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

「1. はい」を選んだ方にお聞きします。

(1) どのような生活を希望しますか。(〇は1つ)

- ア. 一般の住宅でひとり暮らしをしたい
イ. 家族と一緒に暮らしたい
ウ. グループホームを利用したい
エ. その他 ()

(2) 住み慣れた地域で生活するためにどのようなことが必要ですか。(それぞれに〇は1つ)

①在宅での医療的ケア

- ア. 必要でない イ. どちらかという必要でない
ウ. どちらかという必要 エ. 必要

②障がい特性に適した住居の確保

- ア. 必要でない イ. どちらかという必要でない
ウ. どちらかという必要 エ. 必要

③困りごと等の相談支援

- ア. 必要でない イ. どちらかという必要でない
ウ. どちらかという必要 エ. 必要

問21 移動支援事業の利用のきっかけを教えてください。(○は1つ)

1. 紹介をうけた
2. 自分で知った

(1) 「1. 紹介をうけた」を選んだ方にお聞きします。

どなたから紹介を受けましたか。(○は1つ)

- ア. 行政機関の相談窓口
- イ. 相談支援事業所など民間の相談窓口
- ウ. 先生(保育所、幼稚園、学校など)
- エ. 民生委員、児童委員
- オ. 病院のケースワーカー、介護保険のケアマネージャー
- カ. かかりつけの医師、看護師
- キ. 障がい者団体や家族会(団体の機関紙を含む)
- ク. サービス事業所や施設の職員
- ケ. 家族、親戚、友人、知人
- コ. その他()

(2) 「2. 自分で知った」を選んだ方にお聞きします。

どこで知りましたか。(○は1つ)

- ア. 行政機関のパンフレット
- イ. インターネット
- ウ. 本、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ
- エ. その他()

問22 あなたは、移動支援事業以外の利用も考えましたか。(○は1つ)

1. 考えた
2. 考えなかった

「1. 考えた」を選んだ方にお聞きします。

他の外出方法と比べて、移動支援事業を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ア. 使い勝手がよさそうだから
- イ. 利用者負担が少ないから
- ウ. サービス提供事業所の印象がよかったから
- エ. その他()

問23 あなたの移動支援事業の主な利用目的は何ですか。(○は1つ)

1. 通勤
2. 障がい福祉サービス提供事業所への送迎
3. 余暇活動参加
4. 通学
5. 日常生活(買い物等)
6. その他()

「4. 通学を選んだ方にお聞きします。通っている学校を選んでください。(○は1つ)

- ア. 大学・専門学校
- イ. 特別支援学校
- ウ. 小中学校・高等学校

問24 あなたは、移動支援事業をどのくらい利用していますか。(○は1つ)

1. ほとんど毎日
2. 週に2～3回
3. 週に1回程度
4. 月に1～2回程度
5. めったに利用しない(1～4以外)

問25 問24の利用回数は、あなたの希望通りですか。(○は1つ)

1. 希望どおり
2. 希望どおりでないこともある
3. 希望どおりでない
4. わからない

「2. 希望どおりでないこともある」「3. 希望どおりでない」を選んだ方にお聞きします。
希望どおりでない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ア. 利用できる事業所に空きがなかった
- イ. 利用者負担が高額だった
- ウ. 利用希望時間があわなかった
- エ. その他()

問26 移動支援事業を利用したことで、あなたの外出は増えましたか。(○は1つ)

1. 増えた
2. 変わらない
3. 減った
4. わからない

問27 あなたは、移動支援事業に満足していますか。(○は1つ)

1. 十分満足している
2. どちらかという満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかという満足していない
5. 全く満足していない
6. わからない

障がい者福祉タクシー制度についてお聞きします。

障がい者福祉タクシー制度は、出雲市独自のサービスで、対象となる方に福祉タクシー券を交付しています。

問28 あなたは、障がい者福祉タクシー制度を利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している ⇒問29へ進んでください
2. 利用していない
3. 制度を知らない

「2. 利用していない」「3. 制度を知らない」を選んだ方は、「日中一時支援事業」(問33)へ進んでください。

問29 利用している福祉タクシー券の種類は何ですか。(○は1つ)

1. 一般用
2. 一般用(視覚障がい)
3. 車いす用
4. ストレッチャー用

問34 日中一時支援事業の利用のきっかけを教えてください。(〇は1つ)

1. 紹介をうけた 2. 自分で知った

(1) 「1. 紹介をうけた」を選んだ方にお聞きします。どなたから紹介を受けましたか。

- ア. 行政機関の相談窓口 (〇は1つ)
イ. 相談支援事業所などの民間の相談窓口
ウ. 先生(保育所、幼稚園、学校など)
エ. 民生委員・児童委員
オ. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー
カ. かかりつけの医師、看護師
キ. 障がい者団体や家族会(団体の機関誌を含む)
ク. サービス事業所や施設の職員
ケ. 家族・親戚・友人・知人
コ. その他()

(2) 「2. 自分で知った」を選んだ方にお聞きします。どこで知りましたか。(〇は1つ)

- ア. 行政機関のパンフレット
イ. インターネット
ウ. 本、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ
エ. その他()

問35 あなたは、日中一時支援事業以外の利用も考えましたか。(〇は1つ)

1. 考えた 2. 考えなかった

「1. 考えた」を選んだ方にお聞きします。他のサービスと比べて、日中一時支援事業を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- ア. 使い勝手がよさそうだから
イ. 利用者負担が少ないから
ウ. サービス提供事業所の印象がよかったから
エ. その他()

問36 あなたが利用している日中一時支援事業の内容を選んでください。(〇は1つ)

1. 見守り 2. 訓練 3. その他()

問37 あなたは、日中一時支援事業をどれくらい利用していますか。

1. ほとんど毎日 2. 週に2～3回 3. 週に1回程度
4. 月に1～2回程度 5. めったに利用しない

問38 問37の利用回数は、あなたの希望どおりですか。(○は1つ)

1. 希望どおり
2. 希望どおりでないこともある
3. 希望どおりでない
4. わからない

「2. 希望どおりでないこともある」「3. 希望どおりでない」を選んだ方にお聞きします。
希望どおりでない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ア. 利用できる事業所に空きがなかった
- イ. 利用者負担が高額だった
- ウ. 利用希望時間があわなかった
- エ. その他 ()

問39 あなたは、日中一時支援事業に満足していますか。(○は1つ)

1. 十分満足している
2. どちらかという満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかという満足していない
5. 全く満足していない
6. わからない

問40 障がい者福祉に関して、ご意見・ご要望がありましたら自由にお書きください。

アンケートはこれで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

障がい者ニーズ把握等の法人アンケート

【回答に当たってのお願い】

- ・できるだけサービスの管理者またはそれに準じる方がご記入ください。
- ・このアンケート調査票では、法人全体についてご回答ください。
- ・障がい福祉サービス等についての調査ですので、介護保険サービスは含めないでください。
- ・選択肢がある設問は、当てはまる選択肢の番号に直接○をつけてください。
「その他」を選んだ場合は、その内容を（ ）の中にお書きください。
- ・令和4年3月31日時点の状況でお答えください。

【アンケート調査票の提出】

記入したアンケート調査票は、令和〇年〇月〇日（〇）までに、下記の電子メールアドレスへお送りください。

電子メール：

【お問い合わせ先】

（1）調査委託事業所

電話

F A X

電子メール

（2）出雲市役所健康福祉部福祉推進課

電話 0853-21-6961

F A X 0853-21-6598

電子メール fukushi@city.izumo.shimane.jp

電子メールでのお問い合わせの際には、題名を「問い合わせ：出雲市障がい者福祉に関するアンケート調査」としてください。

1 基本項目

問1 法人名、本アンケートにご回答いただくご担当者のお名前、連絡先をご記入ください。

法人名	
担当者氏名	
電話	
F A X	
電子メール	

問6 地域生活支援拠点登録にあたっての問題点は何ですか。

1. 職員の確保が困難
2. 収益の確保が困難
3. サービス提供場所の確保が困難
4. その他 ()

3 障がい福祉計画、障がい児福祉計画策定

問7 貴法人内の各事業所の拡張予定はありますか。(〇は1つ)

1. ある
2. ない

「1. ある」を選択した法人にお聞きします。

拡張する事業所名、事業名、利用定員を記入し、拡張時期を選択してください。

事業所名	事業名	利用定員 (人)	拡張時期					未定
			令和4 年度中	令和5 年度中	令和6 年度中	令和7 年度中	令和8 年度中	
		拡張前						
		拡張後	あ	い	う	え	お	か
			あ	い	う	え	お	か
			あ	い	う	え	お	か
			あ	い	う	え	お	か

問8 貴法人内の各事業所で、新規事業への参入予定はありますか。（○は1つ）

1. ある
2. ない

「1. ある」を選択した法人にお聞きします。

事業所名、参入する事業名、利用定員を記入し、参入時期を選択してください。

※事業所名には、参入する事業の実施予定事業所名を記入してください。実施する事業所が決まっていない場合、事業所名の欄に「未定」と記入してください。

事業所名	事業名	利用定員 (人)	参入時期					未定
			令和4 年度中	令和5 年度中	令和6 年度中	令和7 年度中	令和8 年度中	
			あ	い	う	え	お	か
			あ	い	う	え	お	か
			あ	い	う	え	お	か
			あ	い	う	え	お	か

問9 貴事業所内の各事業所で、廃止する予定の事業はありますか。（○は1つ）

1. ある
2. ない

「1. ある」を選択した法人にお聞きします。

事業所名、廃止する事業名、利用定員を記入し、廃止時期を選択してください。

※事業所名には、廃止する事業を現在実施している事業所名を記入してください。

事業所名	事業名	利用定員 (人)	廃止時期					未定
			令和 4 年度中	令和 5 年度中	令和 6 年度中	令和 7 年度中	令和 8 年度中	
			あ	い	う	え	お	か
			あ	い	う	え	お	か
			あ	い	う	え	お	か
			あ	い	う	え	お	か

問10 貴法人内の各事業所で、縮小する予定の事業はありますか。（〇は1つ）

1. ある
2. ない

「1. ある」を選択した法人にお聞きします。

縮小する事業所名、事業名、利用定員を記入し、縮小時期を選択してください。

事業所名	事業名	利用定員 (人)	縮小時期					未定
		縮小前	令和4 年度中	令和5 年度中	令和6 年度中	令和7 年度中	令和8 年度中	
		縮小後						
			あ	い	う	え	お	か
			あ	い	う	え	お	か
			あ	い	う	え	お	か

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

障がい者ニーズ把握等の事業所アンケート

【回答に当たってのお願い】

- ・できるだけサービスの管理者またはそれに準じる方がご記入ください。
- ・このアンケート調査票では、法人全体についてご回答ください。
- ・障がい福祉サービス等についての調査ですので、介護保険サービスは含めないでください。
- ・選択肢がある設問は、当てはまる選択肢の番号に直接○をつけてください。
- 「その他」を選んだ場合は、その内容を（ ）の中にお書きください。
- ・令和4年3月31日時点の状況でお答えください。

【アンケート調査票の提出】

記入したアンケート調査票は、令和○年○月○日（○）までに、下記の電子メールアドレスへお送りください。

電子メール：

【お問い合わせ先】

（1）調査委託事業所

電話

F A X

電子メール

（2）出雲市役所健康福祉部福祉推進課

電話 0853-21-6961

F A X 0853-21-6598

電子メール fukushi@city.izumo.shimane.jp

電子メールでのお問い合わせの際には、題名を「問い合わせ：出雲市障がい者福祉に関するアンケート調査」としてください。

1 基本項目

問1 事業所名、本アンケートにご回答いただくご担当者のお名前、連絡先をご記入ください。

事業所名	
担当者氏名	
電話	
F A X	
電子メール	

問2 従業員数を記入してください。

常勤職員		人
非常勤職員		人

●重度障がい者等包括支援

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●同行援護

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●短期入所（ショートステイ）

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●療養介護

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●生活介護

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●施設入所支援

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

【訓練等給付】

●自立訓練（機能訓練）

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●自立訓練（生活訓練）

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●自立訓練（宿泊型）

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●就労移行支援

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●就労継続支援A型

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●就労継続支援B型

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●共同生活援助

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●就労定着支援

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●自立生活援助

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

【障がい児通所支援】

●児童発達支援

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●児童発達支援（医療型）

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●放課後等デイサービス

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●保育所等訪問

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●居宅訪問型児童発達支援

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

問6 地域生活支援事業の実施の有無、実施している者についてはその対応状況を選択してください。

●コミュニケーション支援事業

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●移動支援事業

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●地域活動支援センター事業

・障がい者生活介護型

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

・精神障がい者通所型

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

・障がい者共同作業所移行型

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●訪問入浴事業

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

●日中一時支援事業

- (1) サービス提供の有無 1. 提供している 2. 提供していない
(2) 対応状況 ア. すべての依頼に対応できている
イ. 依頼が多く対応できていない
ウ. サービス提供の依頼が少ない

問7 中山間地域に居住する障がい者への支援を充実させるため、事業所から市に期待するものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. サービス提供時の給付費の増額
2. 施設整備の補助
3. 中山間地域の利用者が効率的にサービスが利用できるような仕組みづくり
→具体的に ()
4. その他 ()

4 移動支援事業

問8 出雲市における移動支援事業において、提供しているサービスおよび次年度以降の予定を選択してください。サービスを提供している場合、開始年次を西暦でご記入ください。

●個別支援型

提供の有無

1. 提供している ⇒開始年次 () 年
2. 提供していない

令和5年度以降の予定

- ア. 新規追加 イ. 規模拡大 ウ. 現状維持 エ. 規模縮小
オ. 廃止 カ. 提供予定なし キ. 未定

●グループ支援型

提供の有無

1. 提供している ⇒開始年次（ ）年
2. 提供していない

令和5年度以降の予定

- | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|
| ア. 新規追加 | イ. 規模拡大 | ウ. 現状維持 | エ. 規模縮小 |
| オ. 廃止 | カ. 提供予定なし | キ. 未定 | |

個別支援型、グループ支援型とも「2. 提供していない」を選択した事業所は、「障がい者福祉タクシー制度」へ進んでください。

問9 利用者の定員（受け入れ可能人数）を記入してください。

人

問10 医療的ケア児・者は利用対象としていますか。（○は1つ）

1. 対象としている
2. 対象としていない
3. 本人の状態により、対象となる場合とならない場合がある

問11 移動支援事業のサービス利用者数を障がい種別毎に記入してください。

利用者数は、当該年度の4月1日から3月31日までに利用した延べ人数をさします。

①・②については、複数に該当する利用者がある場合、移動支援事業の利用目的となるもの1つカウントしてください。③については、①・②の該当の有無によらず、合計人数を回答してください。

①各手帳所持者数

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
身体障がい者手帳			
療育手帳			
精神障がい者保健福祉手帳			

②以下に該当する障がい者数

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
難病等			
発達障がい			
高次脳機能障がい			

③医療的ケア児・者の人数

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
医療的ケア児・者			

問12 移動支援事業のサービス利用者数を障がい支援区分別に記入してください。

該当する支援区分の利用者がいない場合は「0」を記入してください。

①障がい者

単位：人

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
区分1			
区分2			
区分3			
区分4			
区分5			
区分6			
非該当			
未認定			

②障がい児

単位：人

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
区分1			
区分2			
区分3			
未認定			

問13 サービス提供地域を記入してください。（あてはまるものすべてに○）

1. 出雲地域 2. 平田地域 3. 佐田地域 4. 多伎地域
5. 湖陵地域 6. 大社地域 7. 斐川地域 8. 出雲市外

問14 地域毎の利用者数を記入してください。

利用者数は当該年度の4月1日から3月31日までに利用した延べ人数をさします。

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
出雲地域			
平田地域			
佐田地域			
多伎地域			
湖陵地域			
大社地域			
斐川地域			
出雲市外			

問15 利用者へのサービス提供時の課題は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 変更やキャンセルが多い
2. 苦情やトラブルが多い
3. 利用希望者の自宅が事業所から遠い
4. 利用時間帯が重なる
5. その他（ ）

問16 移動支援事業の収益の内訳について、金額を記入してください。

単位：円

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地域生活支援事業 給付費			
利用者負担による収益			
その他の収益			

問17 移動支援事業の費用の内訳について、金額を記入してください。

単位：円

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
給与費			
給与費以外の費用			

問18 移動支援事業の事業所を経営していくうえで課題がありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 職員確保が困難
2. 収益の確保が困難
3. 職員の処遇改善が困難
4. 車両の確保が困難
5. その他（ ）

問19 支給決定者からの利用相談に対応できなかったことがありますか。（○は1つ）

1. ある
2. ない

「1. ある」と回答された事業所にお聞きします。

断った理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- ア. 人員不足
- イ. 車両不足
- ウ. 利用時間があわない
- エ. 利用希望者の自宅が事業所から遠い
- オ. その他（ ）

5 日中一時支援事業

問20 出雲市における日中一時支援事業において、提供しているサービス内容および令和5年度以降の予定を選択してください。サービスを提供している場合、開始年次を西暦でご記入ください。（すべてのサービス内容について回答してください。）

●見守り

提供の有無

1. 提供している ⇒開始年次（ ）年
2. 提供していない

令和5年度以降の予定

- | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|
| ア. 新規追加 | イ. 規模拡大 | ウ. 現状維持 | エ. 規模縮小 |
| オ. 廃止 | カ. 提供予定なし | キ. 未定 | |

●訓練

提供の有無

1. 提供している ⇒開始年次（ ）年
2. 提供していない

令和5年度以降の予定

- | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|
| ア. 新規追加 | イ. 規模拡大 | ウ. 現状維持 | エ. 規模縮小 |
| オ. 廃止 | カ. 提供予定なし | キ. 未定 | |

●その他（ ）

提供の有無

1. 提供している ⇒開始年次（ ）年
2. 提供していない

令和5年度以降の予定

- | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|
| ア. 新規追加 | イ. 規模拡大 | ウ. 現状維持 | エ. 規模縮小 |
| オ. 廃止 | カ. 提供予定なし | キ. 未定 | |

「●見守り」について、「1. 提供している」を選択した事業所にお聞きします。

サービスの具体的な内容は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- ア. 放課後等デイサービス利用前後の利用
- イ. 看護者の急用等による利用
- ウ. 障がい福祉サービス提供前後の利用
- エ. その他（ ）

すべてのサービス内容で「2. 提供していない」を選択した事業所は、アンケートはこれで終わりです。

ご協力ありがとうございました。

問21 利用者の定員を記入してください。

人

問22 医療的ケア児・者は利用対象としていますか。（〇は1つ）

1. 対象としている
2. 対象としていない
3. 本人の状態により、対象となる場合とならない場合がある

問23 日中一時支援事業のサービス利用者数を障がい種別毎に記入してください。

利用者数は、当該年度の4月1日から3月31日までに利用した延べ人数をさします。

①・②については、複数に該当する利用者がある場合、日中一時支援事業の利用目的となるもの1つカウントしてください。③については、①・②の該当の有無によらず、合計人数を回答してください。

①各手帳所持者数

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
身体障がい者手帳			
療育手帳			
精神障がい者保健福祉手帳			

②以下に該当する障がい者数

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
難病等			
発達障がい			
高次脳機能障がい			

③医療的ケア児・者の人数

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
医療的ケア児・者			

問24 日中一時支援事業のサービス利用者数を障がい支援区分別に記入してください。

該当する支援区分の利用者がいない場合は「0」を記入してください。

①障がい者

単位：人

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
区分1			
区分2			
区分3			
区分4			
区分5			
区分6			
非該当			
未認定			

②障がい児

単位：人

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
区分1			
区分2			
区分3			
未認定			

問25 令和4年3月中の利用者一人あたりの1日の利用時間について伺います。

平日と休日（土、日、祝日等の利用）および利用目的に分けて、利用者数が最も多い利用時間1つを選択してください。

①平日

利用目的	利用なし	利用時間								
		20分未満	30分未満	30分以上	130分未満	130分以上	21時間未満	21時間以上	42時間未満	42時間以上
放課後等デイサービス利用前後の利用	1	2	3	4	5	6	7	8		
看護者等の急用等による利用	1	2	3	4	5	6	7	8		
障がい福祉サービス提供前後の利用	1	2	3	4	5	6	7	8		
社会に適応するための日常的な訓練のための利用	1	2	3	4	5	6	7	8		
その他（ ）	1	2	3	4	5	6	7	8		

②休日（土、日、祝日等の利用）

利用目的	利用なし	利用時間								
		20分未満	30分未満	30分以上	130分未満	130分以上	21時間未満	21時間以上	42時間未満	42時間以上
放課後等デイサービス利用前後の利用	1	2	3	4	5	6	7	8		
看護者等の急用等による利用	1	2	3	4	5	6	7	8		
障がい福祉サービス提供前後の利用	1	2	3	4	5	6	7	8		
社会に適応するための日常的な訓練のための利用	1	2	3	4	5	6	7	8		
その他（ ）	1	2	3	4	5	6	7	8		

6 新型コロナウイルス感染症による影響

問31 事業所の開所日(※)についてコロナの影響はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 開所日が減った
2. 開所日が増えた
3. 職員のみのお勤が増えた
4. 開所日に影響はなかった
5. その他 ()

※開所日とは、サービス提供が可能な日です。

問32 職員(常勤、非常勤を含む)の勤務体系について、コロナの影響はありましたか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 職員の勤務時間に影響が出た
2. 子育てまたは介護による職員の欠勤があった
3. 感染防止のため事業所間の職員の移動ができなかった
4. 影響はなかった
5. その他 ()

問33 事業所の運営体制について、コロナの影響はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 会議を中止したり延期をした
2. イベントを中止した
3. 衛生用品(マスク、消毒液など)が足りなくなった
4. 提出書類や報告書等の作成が困難になった
5. 感染リスクを避けるため事業所を休業した
6. 資産の取り崩しを行った、または行う予定
7. 影響はなかった
8. その他 ()

問34 新型コロナウイルス感染症拡大により、利用者数に影響はありましたか。

1. 利用者数が減少した →サービス名 ()
2. 利用者数が増加した →サービス名 ()
3. 利用者数に特に影響はなかった

「1. 利用者数が減少した」を選択した事業所にお聞きします。

減少した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ア. 利用者からサービス利用の自粛があった
- イ. 事業所として利用者の数に制限をかけた
- ウ. 事業所を休業した
- エ. その他 ()

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

資料 4

令和 4 年度各専門部会等の事業計画

令和 4 年 (2022) 5 月 2 6 日

出雲市健康福祉部福祉推進課

令和4年度 つながる専門部会 活動計画書

メンバー	<p>部会長 : 玉木 (かのん)</p> <p>副部会長 : 福田 (プレーゲ)</p> <p>メンバー : 渡部・古家 (ふあっと)、吉田 (いんくるネット出雲)、古割 (出雲保健所)、今岡 (平安堂)、原田 (大社高齢者あんしん支援センター)、福間 (太陽の里)、Reve (富岡)、岸 (うさぎケアプラン出雲)</p> <p>事務局 : 原田 (福祉推進課)</p>
現 状 (問題点・課題)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険とつながる：障がい福祉サービスから介護保険への移行をスムーズに行う必要があるが、現状は相談支援専門員とケアマネとの連携がうまくいかず、当事者が不安を抱いてしまうケースがある。 2. 地域とつながる：障がいのある方にとって地域とのつながりは重要だが、お互いに協力し合える段階までには進めていない現状がある。障がい者がインフォーマルな支援者ともつながれるように環境を整えたり、民生委員や地域住民に、障がい者や相談支援専門員について、理解を深めてもらえるような取り組みを考えていく必要がある。
テーマ (ねらい)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険とつながる：ケアマネと相談支援専門員がお互いに顔を合わせて相互理解を深め、連絡がとりやすく同じ目的に向かって共同できる環境作りをする。 2. 地域とつながる：障がいのある人や相談支援専門員について地域の方に理解を深めてもらえるように、コミュニティーセンターや民生委員、社会福祉協議会等に働きかけ、必要時に連携ができる体制を作る。
具体的方法 (評価を含む)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険とつながる <ol style="list-style-type: none"> ①障がい福祉サービスと介護保険サービスのサービス対照表の見直し。 ②相談支援専門員とケアマネとの共同研修会を実施。 *コロナ感染症対策として、参加人数を減らし、複数回の実施とするなど開催方法の検討をする。 ③相談支援専門員とケアマネが、気軽にフリートークをできる場の検討。 2. 地域とつながる <ol style="list-style-type: none"> ①コミュニティーセンターへ出向き、地域住民とのつながりを意識しながら、障がいのある方が地域のイベントに参加できるような取り組みを考える。(※モデル地区を選定して実施) ②民生委員の定例会に参加し、地域課題を把握すると共に、相談支援専門員に対する理解を深めてもらう。 ③社会福祉協議会との事例検討会等、地域課題について協議できる場の検討。 <p>*令和2年度に作成した相談支援専門員の普及啓発ポスターについては、必要に応じて、継続して関係機関に配布を行う。</p>

年間計画

月	内容	備考
4月		
5月	第1回WG	
6月		
7月	第2回WG	
8月	第1回 ケアマネと相談支援専門員の合同研修会	
9月	第3回WG	
10月	第2回 ケアマネと相談支援専門員の合同研修会	
11月	第4回WG	
12月		
1月	第5回WG	
2月		
3月	第6回WG	

* 民生委員定例会への参加、相談支援専門員の普及啓発ポスターの配布については随時対応。

令和4年度 暮らし専門部会 活動計画書

メンバー	<p>部会長 : 森谷 (桑友)</p> <p>副部会長 : 柳楽 (ハートピア出雲)</p> <p>メンバー : 宮本 (桑友)、福代 (CS いずも)、足立 (くまローズスポーツ)、三原 (くま&ローズ)、石村 (くまローズ放課後デイ)</p> <p>事務局 : 木村 (福祉推進課)</p>
現状 (問題点・課題)	<p>昨年度は「地域資源の情報交換 (10月サービス調整会議)」が概ね好評であった。具体的な情報のやり取りを行うことで、日常業務への活用につながるという点が要因の一つだと考える。</p> <p>グループワークにおいても様々なテーマや課題が取り上げられた。さらに議論を深めることで、地域資源活用の工夫を共有・地域課題抽出の流れを形成。あわよくば、地域資源創出に向けたきっかけづくりにつなげる。</p>
テーマ (ねらい)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各相談支援専門員が所有する地域資源情報について、定期的に共有する場をつくる。 2. 上記の場で地域課題を確認できた場合、サービス調整会議や運営会議への働きかけを行う。
具体的方法 (評価を含む)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域資源に関する定期的な情報共有 <ol style="list-style-type: none"> ①情報交換会 (オンライン) <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決めて自由に情報や意見を交換 ・各相談支援専門員の取り組みについて具体的な情報収集 →資源活用工夫の共有や地域課題抽出を目指す ②サービス調整会議 (1月) <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の内容や情報交換会を踏まえて詳細を検討 2. 資源情報一覧の更新 <p>情報交換会で得られた情報の追記を中心に修正を行う →各相談支援事業所、サービス提供事業所へ情報発信</p>

年間計画

月	内 容	備 考
4 月	準備会	
5 月	第 1 回くらし専門部会(5 月 17 日) ・事業計画及び年間計画確認 ・情報交換会①準備(進行・テーマ検討、呼びかけ)	
6 月	情報交換会①	※6 月以降 オンライン活用
7 月	第 2 回くらし専門部会 ・情報交換会①ふり返り ・情報交換会②準備	
8 月	情報交換会②	
9 月	第 3 回くらし専門部会 ・情報交換会②ふり返り ・情報交換会③準備	
10 月	情報交換会③	
11 月	第 4 回くらし専門部会 ・情報交換会①～③総括 ・資源情報一覧更新(追記及び修正)	
12 月	第 5 回くらし専門部会 ・サービス調整会議準備	
1 月	サービス調整会議【地域資源について】	
2 月	第 6 回くらし専門部会 ・年度総括 ・次年度に向けて	
3 月	第 7 回くらし専門部会(予備) (同上)	

令和4年度 じりつ専門部会 活動計画書

メンバー	<p>部会長：渡部（ふあつと） 副部会長：勝部（そうゆう）</p> <p>地域移行支援 WG メンバー：佐藤・和田（こころの医療センター） 矢野・信高（海星病院）、矢野（出雲保健所）、三島（ハートフルホームかんど）、金友（WANAJAPAN）、 若林（Relisa）、富岡（Reve）、多々納（県中）</p> <p>ささえ愛サポート WG メンバー：長澤（美野園）、浅津、見戸（出雲サンホーム）、小村、濱村（光風園）、富岡（ふあつとほおむ）、富岡（Reve）、岩崎（クオーレ）、夕永（CS いずも）、布野（ハートピア出雲）</p> <p>事務局：山本・青木（福祉推進課）</p>
現状 (問題点・課題)	<p>◎ささえ愛サポート:制度趣旨の周知や徹底が不十分で利用までの流れがスムーズではない。医療的ケアが必要な方の受け入れ先がない。また、空床を確保する短期入所事業所への補償がない為受け入れ希望先に空きがない事がある。拠点アパートの利用対象者や条件の見直しが必要である。</p> <p>◎地域移行支援:幅広い視点で地域移行のみならず在宅生活を支える中でのリスク要因やニーズ把握が必要である。また、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業において市町村を中心とした仕組み作りが必要である。</p>
テーマ (ねらい)	<p>障がいのある方が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるように…</p> <p>◎地域生活支援拠点（ささえ愛サポート）のスムーズな利用</p> <p>◎地域移行のみならず在宅生活を支える地域の仕組み作り</p>
具体的方法 (評価を含む)	<p><u>◎ささえ愛サポート WG</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○当事者に対する事業の周知や相談支援専門員の制度理解の徹底 ○短期入所事業所の受け入れに対する課題検討 ○医療的ケアが必要な方も利用できるように検討 ○拠点アパートの利用対象や条件などの検討 <p><u>◎地域移行支援 WG</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○事例検討を通じて幅広い視点で地域課題を検討 ○クライシスプランの活用を通して病院と地域で顔の見える関係構築と所属を超えた同職種での横連携の構築を検討 ○多職種連携での意見交換や交流に行政、医療、福祉に+司法の関わりを検討 ○在宅生活を支える上でのリスク要因、ニーズ把握と就労支援との連携について検討 ○研修会（精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムについて） <p>◎じりつ専門部会の全体会を開催し WG の意見交換をする。</p>

年間計画

月	ささえ愛サポート WG	地域移行支援 WG	じりつ部会(全体)	サービス調整会議
4月				ささえ愛サポート進捗状況報告
5月				
6月			第1回	
7月		第1回		
8月	第1回			
9月		第2回		研修会：地域包括ケアシステムを活用した精神障がい者の支援
10月	第2回			事例検討：ささえ愛サポートを活用した支援
11月		第3回	第2回	
12月	第3回			
1月		第4回		
2月	第4回			
3月		第5回	第3回	

令和4年度 こども専門部会 活動計画書

メンバー	部会長 : 田中 (プレーゲ) 副部会長 : 川上 (ハートピア出雲) メンバー : 岡本、勝部 (さざなみ学園) 福田 (プレーゲ) 山形 (CSいずも) 事務局 : 三沢 (福祉推進課)
現 状 (問題点・課題)	1. 重症心身障がい児、医療的ケア児の当事者やご家族の思いや、当事者の立場での課題の把握が不十分である。 2. 学齢期の問題に対する資源不足、情報が足りない。 3. 通学に係る移動支援について、安心して通学できる手段の拡充。
テーマ (ねらい)	1. 重症心身障がい児、医療的ケア児の支援について、実際のご家族が抱える課題や支援の状況を把握し、今後の方向性を検討する。 2. 障がい児を担当する児童の相談支援専門員同士の連携、情報共有を図り、よりよい支援につなげる。 3. 移動支援に頼らず、安心して通学できる手段の拡充について検討。
具体的方法 (評価を含む)	1. 重症心身障がい児の親の会との連携を図り、相談支援専門員が感じる課題ではなく、当事者の立ち場での課題を確認し、今後の方向性を検討していく。 2. 不登校、学習障がいがある児童の理解を深め、支援に活かすために、事例検討を行う (7月のサービス調整会議にて)。 相談支援専門員同士がざっくばらんに話せる場、情報共有する場を設ける。(開催方法についてはZOOMの利用も含め検討する) 3. 移動支援については、部会内のみで解決するのは難しいので、関係機関への働きかけ等を含め、どうしていくか検討していく。

年間計画

月	内 容	備 考
4月	14日 第1回 部会 9:30～ ・年間計画策定	
5月	12日(木) 9:30～市役所3階302会議室	
6月	9日(木) 9:30～市役所3階302会議室	21日(火) 【サービス調整会議】 専門部会の活動報告
7月	14日(木) 9:30～市役所3階市民応接室	27日(水) 【サービス調整会議】 事例検討
8月	10日(水) 9:30～市役所3階市民応接室	
9月	8日(木) 9:30～市役所4階403会議室	
10月	12日(水) 9:30～市役所4階403会議室	
11月	10日(木) ・児童を担当する相談支援専門員の情報共有の場(予定)	
12月	8日(木)	
1月	12日(木)	
2月	9日(木)	
3月	9日(木)	22日 【サービス調整会議】 活動報告

令和4年度 ささえる専門部会 活動計画書

メンバー	<p>部会長 : 柳楽 (ぽんぽん船)</p> <p>副部会長 : 長澤 (美野園) 書記: 青木 (あそび)</p> <p>メンバー :</p> <p>居住系 WG: 浅津 (出雲のホーム)、小村 (光風園)</p> <p>グループホーム WG: 長澤 (美野園)、富岡 (ふあっとほおむ)、</p> <p>日中活動系 WG: 金友 (WANA JAPAN)、石橋 (ハトピア出雲)</p> <p>就労支援 WG: 柳楽 (フロンティア)、山本 (あすてっぷ)、青木 (あそび)</p> <p style="text-align: center;">柳楽 (ぽんぽん船)</p> <p>居宅介護 WG: 松井 (介護ステーションさくら)、土田 (ヘルパーステーションあおぞら)</p> <p>児童通所 WG: 池田 (ぽこぽこ)、和田・梶谷 (CSいずも)</p> <p>事務局: 山本 (福祉推進課)</p>
現状 (問題点・課題)	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービス管理責任者等の質の向上を目指していくため、情報交換や研修等を行う他、新型コロナウイルスの対応等についても、情報共有していきたい。WGのメンバーが減少・固定化されてきた。 2. より質の高いサービスを提供するためには、相談支援専門員との連携が必要。 3. 「ささえ愛サポート」は、まだケースが少なく、今後、新たな課題が出てくると思われるので、情報共有・検討が必要。
テーマ (ねらい)	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービス管理責任者等で、情報交換・共有し、連携を深めることでサービス管理責任者等の質の向上を目指す。 2. 相談支援専門員との連携を深めていく。 3. 関係機関と連携し、「ささえ愛サポート」を推進する。
具体的方法 (評価を含む)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ①部会の開催 年4回 (5月、7月、11月、2月) <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等の企画・準備 ・各WGの活動報告 ・地域課題について検討 ②WGの開催 (年間計画参照) ③研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止・権利擁護研修会 (10月～11月) <p>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年に引き続き、ささえる部会全体での研修ではなく、各WGで実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 相談支援専門員との意見交換会 (令和3年度事業が延期となる) <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度に各WGで話し合った意見をまとめて参加する。 3. 「ささえ愛サポート」の稼働状況を確認し、WGで現状と課題について取りまとめを行うとともに、相談支援専門員や他の専門部会と連携・情報共有しながら進めていく。

年間計画

月	内 容	備 考
4 月		
5 月	・第1回専門部会(25日) 年間計画の確認	居住系 WG・グループホーム WG・ 日中活動系 WG・就労支援 WG・児童通所 WG
6 月	・相談支援専門員との意見交換会(21日)	居宅介護 WG
7 月	・第2回専門部会 虐待防止・権利擁護研修について WGの活動状況報告	居住系 WG・グループホーム WG・ 児童通所 WG・就労支援 WG
8 月		日中活動系 WG
9 月		就労支援 WG
10 月	虐待防止・権利擁護研修(各WGごとに実施) ・第3回専門部会	児童通所 WG・居宅介護 WG
11 月	虐待防止・権利擁護研修の振り返り WGの活動状況報告	居住系 WG・グループホーム WG・ 日中活動系 WG・就労支援 WG
12 月		居宅介護 WG
1 月		児童通所 WG・就労支援 WG
2 月	・第4回専門部会 今年度の反省・次年度の計画立案	グループホーム WG・日中活動系 WG
3 月		居住系 WG

令和4年度 そうだん専門部会 活動計画書

メンバー	部会長 : 足立 (ふあっと) 副部会長 : 萬代 (ハートピア出雲) メンバー : 渡部 (ふあっと)、景山 (ハートピア出雲) 板倉 (さざなみ学園)、勝部・柏井 (そうゆう) 山形 (CSいずも)、小村 (美野園)、福田 (プレーグ) 事務局 : 高山、三沢 (福祉推進課)
現状 (問題点・課題)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害時アセスメント 災害時の連絡先や、障がい特性を踏まえた配慮事項等を盛り込んだアセスメント票を作成した。今後、どのように活用(情報共有)していくのか検討し、内容等の見直しが必要。 2. 相談支援マニュアル 令和4年4月より新たなマニュアルを活用することになった。今後も、相談支援専門員からの意見を聞き、適宜改訂を行う必要がある。 3. 相談支援体制について 出雲市内に30か所以上の相談支援事業所がある。各事業所は、様々な機能や役割、人員体制の中で相談支援業務に取り組んでいる。今一度機能など整理や共有を行い、より良い相談支援が展開できる相談支援体制を作っていく必要がある。 4. 人材育成について コロナ感染拡大に伴い、研修を実施できなかった。リーモーター開催等工夫しながら、研鑽の機会を確保していく必要がある。
テーマ (ねらい)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談支援専門員のスキルアップや連携の強化に取り組み障がい者のエンパワメントや生活の質の向上を目指します。 2. 災害など緊急時にも対応した相談支援が実践できるように、災害時アセスメント等の活用などを検討し、より一層の安全な暮らしの実現をめざします。
具体的方法 (評価を含む)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害時アセスメント 情報共有なども含め活用方法について検討を継続していく。 2. 相談支援マニュアル モニタリング期間の設定に関する具体例の例示 必要に応じて改定作業に取り組む 3. 相談支援体制について 重層的な相談支援体制が機能していくために、現状の把握や課題の抽出などを通して今後の相談支援体制について検討していく(先進地域の情報も取り入れながら)。 4. 人材育成について 相談支援専門員のスキルアップのために、事例検討や講演会を開催。コロナ感染拡大の状況により、リモート等開催方法を検討していく。

年間計画

月	内 容	備 考
4 月	22日 相談支援マニュアル最終確認 (サービス調整会議での説明について) 令和4年活動計画について	
5 月	23日 相談支援体制についての検討 相談支援マニュアルについて (モニタリング期間の例示について)	
6 月	相談支援体制についての検討 研修会開催について 災害時アセスメントシートの活用について	
7 月	相談支援体制についての検討 研修検討	
8 月	相談支援体制についての検討 研修検討	
9 月	研修会(グループスーパービジョン)	
10 月	研修検討 相談支援体制についての検討	
11 月	事例検討会	
12 月	研修検討 相談支援体制についての検討	
1 月	研修検討	
2 月	研修会開催	
3 月	総括 (相談支援体制・相談支援マニュアル・災害時アセスメン ト・人材育成)	

令和4年度 就労支援ネットワーク会議 活動計画書

メンバー	<p>会長：青木（あそび） 副会長：足立（まるべりー斐川） 書記：竹縄（ピノキオ）、矢田（アトリエル） メンバー：佐藤（あそび）、柳楽（ワークセンターフロンティア）、柳楽（ぼんぼん船）、石崎（やまびこ園）、小豆澤（豆の樹）、林（ハローワーク出雲）、安田（リーフ）、福田（リーフ）、山根（出雲養護学校）、平木（出雲養護学校）、原（県教育庁）、萬代（ハートピア出雲）、鍵山（こころの医療センター）、大畑（出雲保健所）、山本（あすてっぷ）、原（高等技術校）細木（しまね東部若者サポートステーション） 事務局：大島（福祉推進課）、立花（福祉推進課）</p>
現 状 (問題点・課題)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障がい者の就労をめぐるには、福祉・労働・教育・医療・行政など多分野の関係機関がかかわっている。当事者にとって最善の支援を行っていくためにも、必要な支援システムを創造していくためにも、互いに顔が見える連携、協働が生まれる基盤としての関係機関ネットワークが必要である。 2. 社会情勢が変化していく中で、障がい者雇用を維持推進していくには、企業側のニーズをしっかりと捉え相互理解と連携の地盤づくりを進める必要がある。 3. 地域に就労移行支援事業所が少ない。就労継続支援の事業所から一般就労を希望される方がいる。希望に応じたステップアップの機会を得られるよう、就職にむけた支援について事業所スタッフに意識やノウハウを広めていく必要がある。 4. 就職がゴールではなく、その後長く安定して働き続けられることがさらに重要である。いざという時に有効な支援が提供できるためには、ゆるやかでも継続的なサポートの仕組みが必要である。
テーマ (ねらい)	<p>【今年度の目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障がい者の一般就労を支援する組織横断的な事業の企画運営を通じて、就労支援をめぐる連携協働の基盤としてのネットワークを構築強化する 2. 障害者雇用の機会拡大にむけた、企業とのつながり作りを行う 3. 福祉就労から一般就労へのステップアップの機会を広げるため、事業所スタッフを対象に就労支援ノウハウの普及浸透を図る 4. 一般就労を目指すきっかけ作りとして、社会経験の少ない当事者にいろんな職場を知ってもらう機会を提供する 5. サービス利用の有無にかかわらず、ゆるやかな就労定着支援の場を提供する
具体的方法 (評価を含む)	<ul style="list-style-type: none"> * ネットワーク会議の開催 * 事例検討 * ジョブガイダンス：集合研修に代わる学習機会として動画教材を制作 * 企業情報交換会：リーフと共同開催 * 福祉から一般就労へのステップアップ意見交換会：就労系事業所スタッフ対象 * 職場見学会実施にむけた企画・準備 * はたらく仲間のコーヒータイトム：毎月第3金曜日 18:00～19:00

年間計画

月	内 容	備 考
4月	4/16 はたらく仲間のコーヒータイム（毎月第3金曜） 4/21 第1回ネットワーク会議	ふじひろ珈琲（中止） 市役所 601 会議室
5月	動画教材制作	
6月	6/22 第2回ネットワーク会議・事例検討	事例提供：アトリエール
7月		
8月	第3回ネットワーク会議・事例検討	事例提供： ワークセンターフロンティア
9月	企業情報交換会	
10月	第4回ネットワーク会議・事例検討 福祉から一般就労へのステップアップ意見交換会	事例提供：まるベリー出雲
11月		
12月	第5回ネットワーク会議・事例検討	事例提供：島根県東部高等技術校
1月		
2月	第6回ネットワーク会議・事例検討	事例提供：リーフ
3月		

資料 5 ～ 9

- | | | |
|------|--------------------------|-------------|
| 資料 5 | 令和 3 年度障がい福祉サービス等状況報告 | (P. 1～P.13) |
| 資料 6 | 令和 3 年度サービス調整会議状況報告 | (P.14～P.16) |
| 資料 7 | 令和 3 年度障がい者虐待防止センター状況報告 | (P.17～P.18) |
| 資料 8 | 令和 3 年度障がい者差別相談センター等状況報告 | (P.19) |
| 資料 9 | 令和 3 年度手話普及の取組状況報告 | (P.20) |

令和 4 年 (2022) 5 月 2 6 日

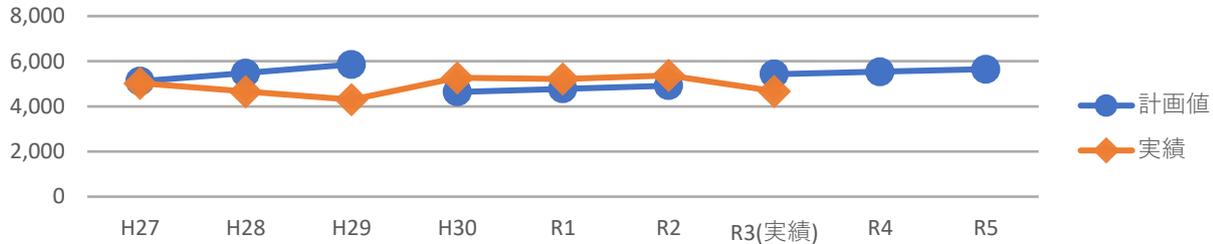
出雲市健康福祉部福祉推進課

令和3年度障がい福祉サービス等状況報告

資料5

単位：時間/月

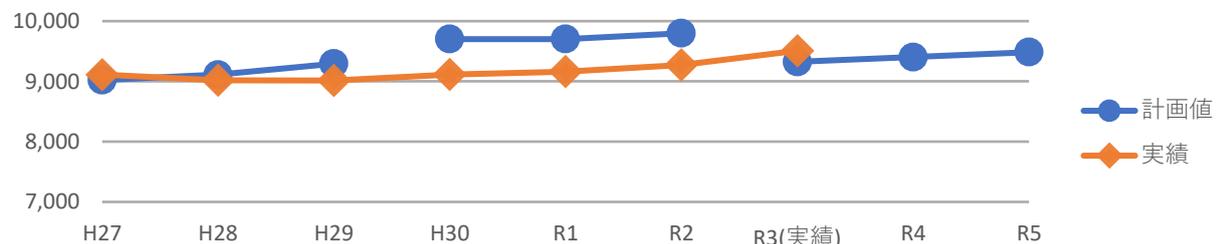
居宅介護等	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	5,119	5,477	5,860	4,638	4,777	4,921	5,428	5,538	5,650
実績	5,023	4,658	4,298	5,269	5,215	5,371	4,671		
対前年比	107%	93%	92%	123%	99%	103%	87%		
年間利用者数	339	357	347	352	357	364	363	372	377



令和3年度は、利用者・利用量ともに減少し、計画を下回りました。

単位：人日/月

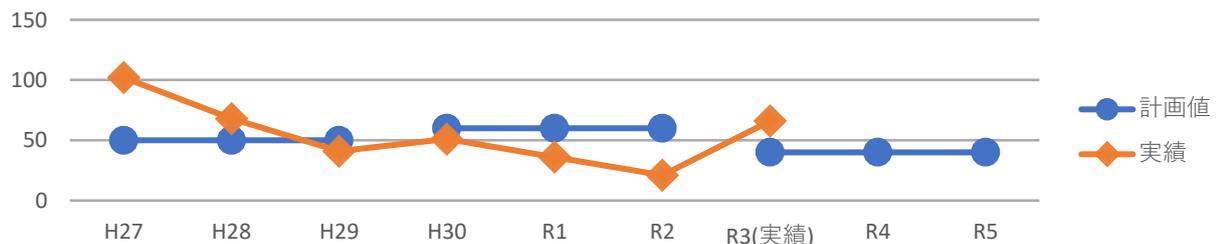
生活介護	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	9,023	9,113	9,295	9,702	9,702	9,799	9,323	9,404	9,486
実績	9,111	9,020	9,015	9,116	9,163	9,274	9,509		
対前年比	104%	99%	100%	101%	101%	101%	103%		
年間利用者数	531	515	522	522	520	528	529	526	528



令和3年度も微増傾向が続いており、計画を上回りました。

単位：人日/月

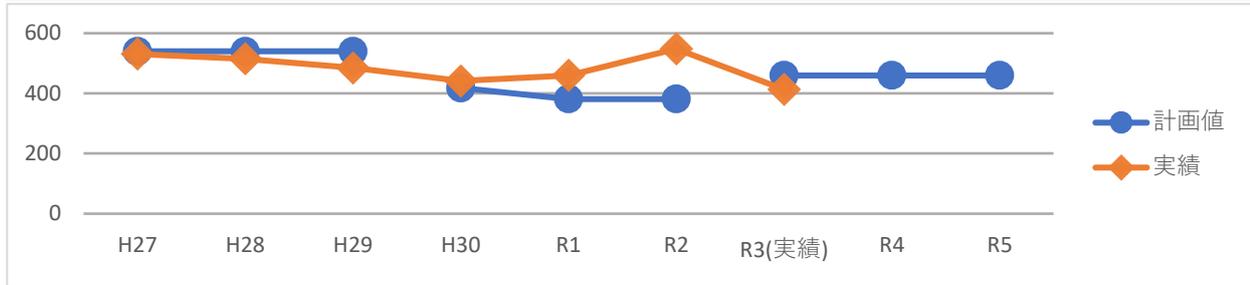
自立訓練 (機能)	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	50	50	50	60	60	60	40	40	40
実績	102	68	41	51	36	21	66		
対前年比	200%	67%	60%	124%	71%	58%	314%		
年間利用者数	7	10	9	10	8	7	7	8	8



令和3年度は、利用人数は横ばいですが、利用量は大幅に増加しました。

単位：人日/月

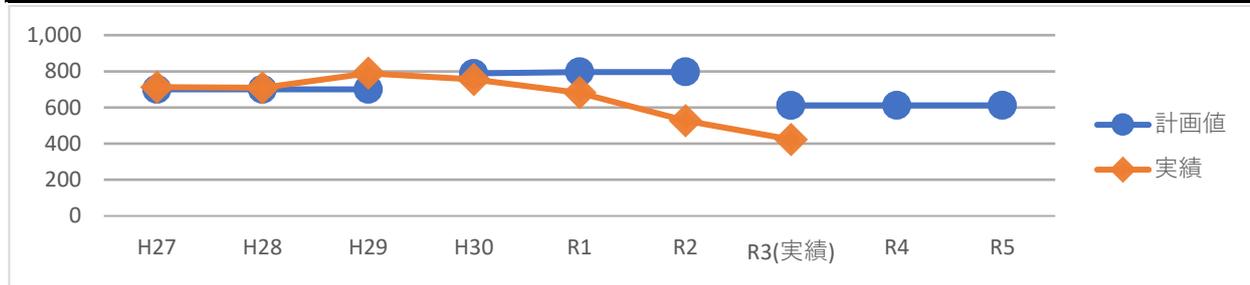
自立訓練 (生活)	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	540	540	540	418	381	381	460	460	460
実績	531	515	485	441	460	548	413		
対前年比	110%	97%	94%	91%	104%	119%	75%		
年間利用者数	46	43	46	56	51	57	51	52	52



令和3年度は、前年より利用量が減少し、計画を下回りました。

単位：人日/月

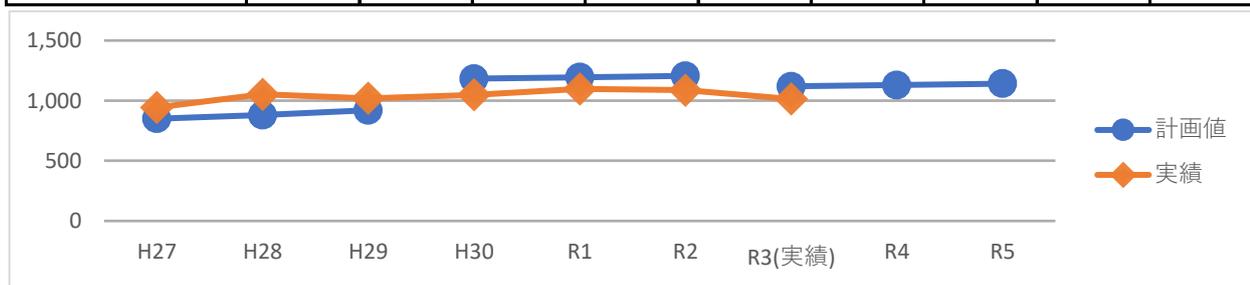
就労移行支援	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	700	700	700	788	796	796	612	612	612
実績	712	709	789	755	681	527	423		
対前年比	104%	100%	111%	96%	90%	77%	80%		
年間利用者数	80	87	93	86	77	67	65	69	69



令和3年度は利用者数・利用量ともに減少しました。

単位：人日/月

就労継続支援 A型	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	850	880	920	1,183	1,194	1,206	1,119	1,130	1,141
実績	944	1,053	1,019	1,049	1,098	1,087	1,014		
対前年比	114%	112%	97%	103%	105%	99%	93%		
年間利用者数	56	66	62	62	71	67	66	74	75



令和3年度はほぼ計画どおりの実績となりました。

単位：人日/月

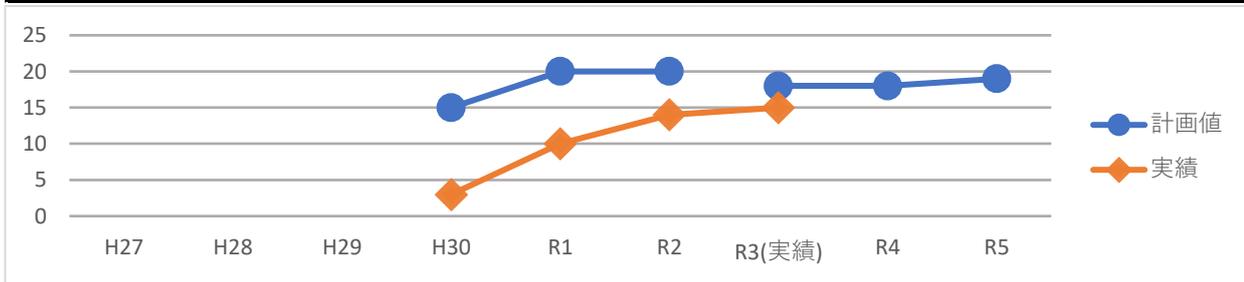
就労継続支援 B型	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	8,070	8,150	8,150	8,519	8,690	8,863	9,717	10,097	10,492
実績	7,509	7,752	8,206	8,627	8,999	9,104	8,410		
対前年比	101%	103%	106%	105%	104%	101%	92%		
年間利用者数	533	548	579	612	639	672	759	732	766



令和3年度は利用者数は増加しましたが、利用量は減少し、計画を下回りました。

単位：人日/月

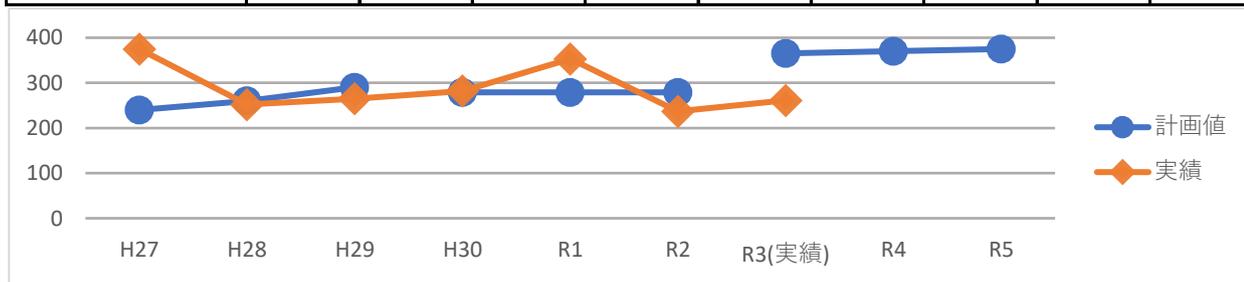
就労定着支援	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	0	0	0	15	20	20	18	18	19
実績	0	0	0	3	10	14	15		
対前年比	—	—	—	—	333%	140%	107%		
年間利用者数	—	—	—	8	15	17	22	36	36



平成30年度より始まったサービスですが、徐々に増加傾向にあります。

単位：人日/月

短期入所	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	240	260	290	279	279	279	365	370	375
実績	375	252	265	282	353	237	261		
対前年比	102%	67%	105%	106%	125%	67%	110%		
年間利用者数	133	123	125	135	136	90	86	147	152



令和3年度は前年に比べ増加していますが、計画を下回りました。

単位：人日/月

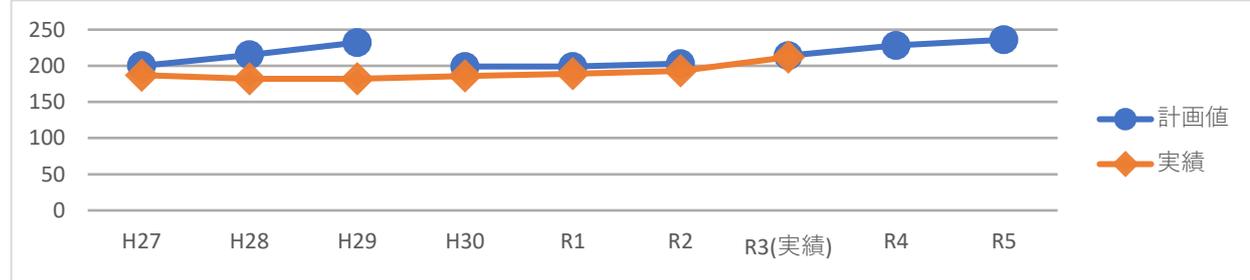
療養介護	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	49	51	53	62	65	67	60	61	62
実績	51	57	57	59	58	55	51		
対前年比	106%	112%	100%	104%	98%	95%	93%		
年間利用者数	56	58	57	59	61	58	52	64	65



令和3年度もほぼ横ばいですが、利用人数・利用量ともに減少傾向が続いています。

単位：人日/月

共同生活援助	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	200	215	232	199	199	203	214	228	236
実績	187	182	182	186	189	193	212		
対前年比	101%	97%	100%	102%	102%	102%	110%		
年間利用者数	198	202	196	196	199	208	229	243	251



令和3年度も増加傾向が続いており、ほぼ計画どおりの実績です。

単位：人日/月

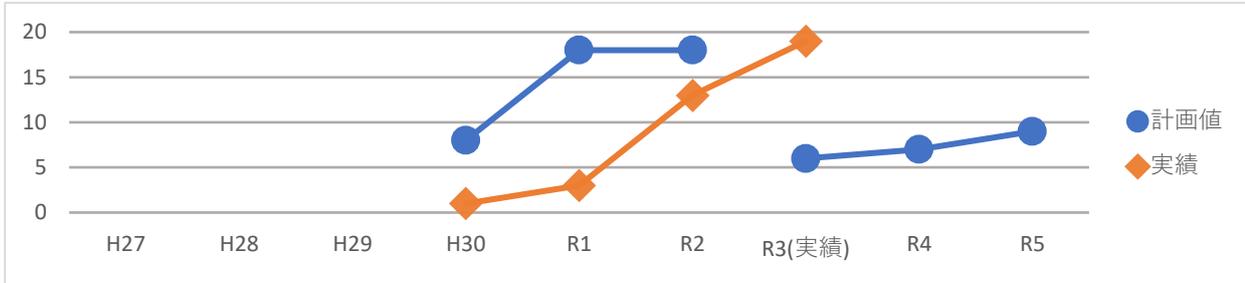
施設入所支援	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	300	285	280	307	304	298	286	285	283
実績	307	305	293	292	289	289	288		
対前年比	99%	99%	96%	100%	99%	100%	100%		
年間利用者数	324	317	302	303	300	296	304	296	295



令和3年度も横ばい傾向が続いており、ほぼ計画どおりの実績です。

単位：人/月

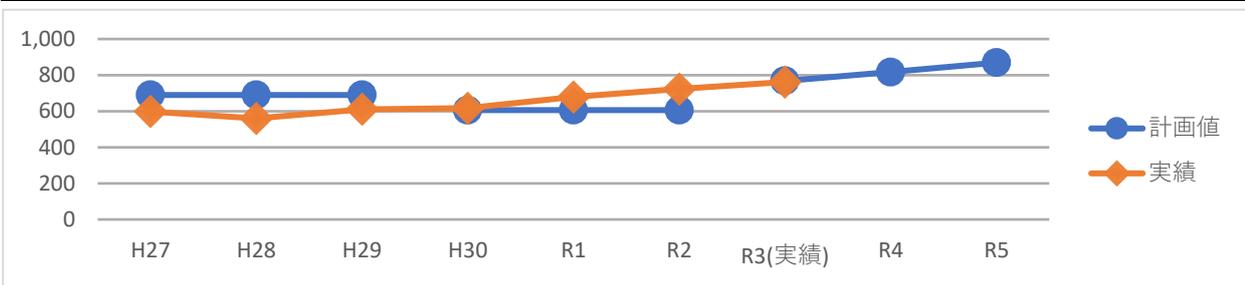
自立生活援助	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	—	—	—	8	18	18	6	7	9
実績	—	—	—	1	3	13	19		
対前年比	—	—	—	—	300%	433%	146%		
年間利用者数	—	—	—	3	3	19	24	7	9



平成30年度から始まったサービスですが、利用者数・利用量ともに増加傾向にあります。

単位：人/月

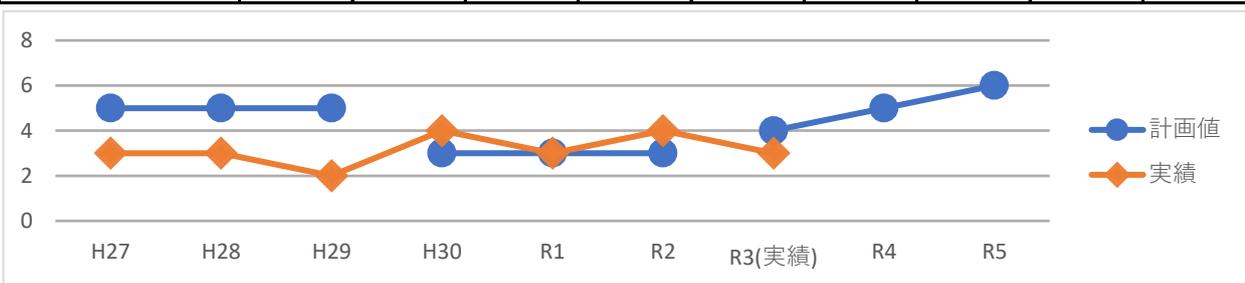
計画相談支援	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	690	690	690	606	606	606	768	817	869
実績	598	560	611	617	679	723	762		
対前年比	120%	94%	109%	101%	110%	106%	105%		
年間利用者数	1,388	1,401	1,466	1,487	1,432	1,575	1,641	1,465	1,476



令和3年度も利用者数は増加しており、ほぼ計画どおりの実績です。

単位：人/月

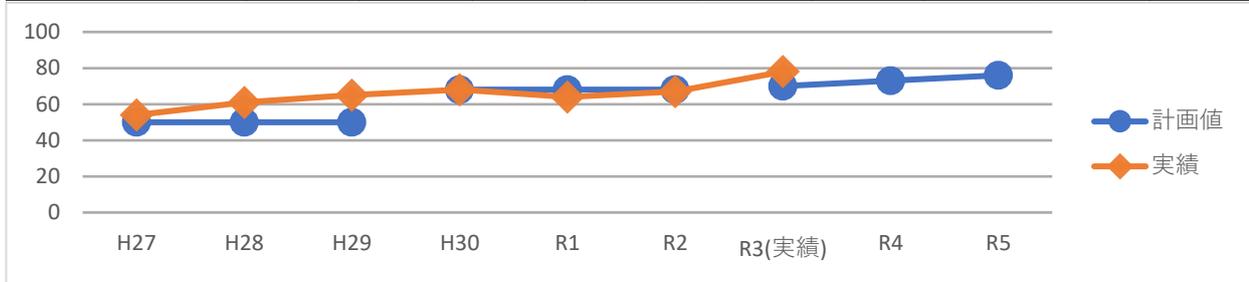
地域移行支援	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	5	5	5	3	3	3	4	5	6
実績	3	3	2	4	3	4	3		
対前年比	150%	100%	67%	200%	75%	133%	75%		
年間利用者数	9	10	11	8	10	12	10	11	12



令和3年度も、ほぼ計画どおりの実績となりました。

単位：人/月

地域定着支援	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	50	50	50	68	68	68	70	73	76
実績	54	61	65	68	64	67	78		
対前年比	104%	113%	107%	105%	94%	105%	116%		
年間利用者数	65	66	74	88	71	76	94	77	79



令和3年度もほぼ計画どおりの実績ですが、利用者数は増加傾向にあります。

地域生活支援事業

単位：人/年・団体/年

自発的活動 支援事業	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	1	2	2	2	2	2	2	2	2
実績	1	1	1	1	1	1	0		
対前年比	100%	100%	100%	100%	100%	100%	0%		
年間利用者数	27	24	25	46	30	35	0	50	50

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実績なしとなりました。
例年、同じ団体の利用であるため、事業の周知に努め、他団体の利用促進を図る必要があります。

単位：箇所/年

相談支援事業	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	—	—	—	9	9	9	9	9	9
実績	9	9	9	9	9	9	9		
対前年比	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		

委託相談支援所に変更が無いため、計画どおりの実績です。

○成年後見制度利用支援

単位：件/年・人/年

(市長申立て)	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	2	2	2	3	3	3	3	3	3
実績	2	3	1	4	3	3	0		
対前年比	200%	150%	33%	400%	75%	100%	0%		
(報酬助成)	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	4	4	4	4	4	4	8	8	8
実績	3	3	7	9	8	5	7		
対前年比	100%	100%	233%	129%	89%	63%	140%		

市長申立ては実績なしとなりましたが、報酬助成は計画に沿った実績となりました。

○意思疎通支援事業・手話奉仕員養成事業

単位：人/年

手話通訳等 登録者数	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	140	140	140	150	150	150	177	178	195
実績	137	136	149	148	164	155	165		
対前年比	98%	99%	110%	99%	111%	95%	106%		
派遣事業 実利用者数	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	45	45	45	50	50	50	45	45	45
実績	41	42	42	44	41	37	40		
対前年比	98%	102%	100%	105%	93%	90%	108%		
手話奉仕員 新規登録者数	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	15	—	15	—	20	—	16	—	17
実績	9	—	12	—	16	—	10		
対前年比	60%	—	133%	—	133%	—	63%		

- ・令和3年度の手話通訳等登録者数は、手話奉仕員新規登録者数分(10人)増加しました。
- ・手話奉仕員の養成については、養成講座の開催日を平日から土曜日に変更する等、幅広い年齢層に受講可能となるよう改善を行い、今まで受講がなかった若年層の受講がありました。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、各種行事や大会等が中止となったため、派遣事業の実績が減少しました。
- ・平成29年9月に「出雲市手話の普及の推進に関する条例」を施行し、手話による支援の輪の拡大を図るべく意思疎通支援者の増加に向け、取組を継続していく必要があります。

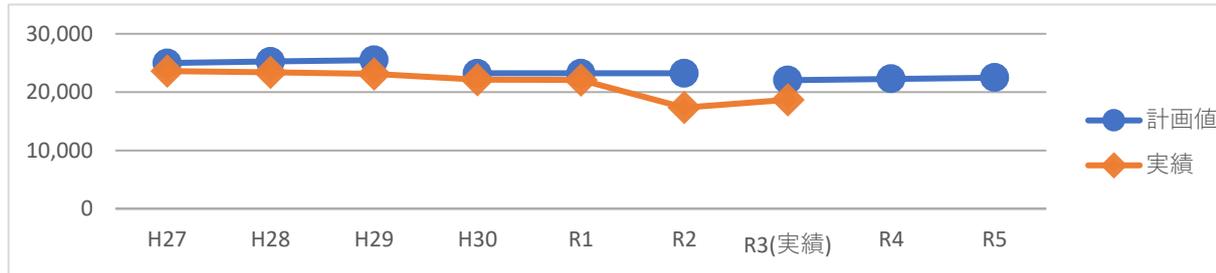
単位：件/年

日常生活用具 給付事業	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	812	837	855	860	866	872	848	854	860
実績	800	775	832	875	836	875	846		
対前年比	99%	97%	107%	105%	96%	105%	97%		

令和3年度は、特殊マット、入浴補助具の給付件数が減少しています。

単位：時間/年

移動支援事業	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	24,982	25,231	25,483	23,214	23,214	23,214	22,040	22,260	22,480
実績	23,603	23,393	23,117	22,124	22,054	17,334	18,678		
対前年比	100%	99%	99%	96%	100%	79%	108%		
年間利用者数	422	423	425	401	402	369	357	404	408



令和3年度の利用実績は、休校等で児童の通学支援が減となったため、計画を下回りました。

○地域活動支援センター事業

単位：人/年

障がい者 生活介護型	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	8	8	8	5	5	5	4	4	4
実績	8	4	4	4	4	3	3		
対前年比	89%	50%	100%	100%	100%	75%	100%		

単位：人/年

精神障がい者 通所型	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	—	—	—	210	210	210	237	237	237
実績	212	210	186	174	231	164	155		
対前年比	98%	99%	89%	94%	133%	71%	95%		

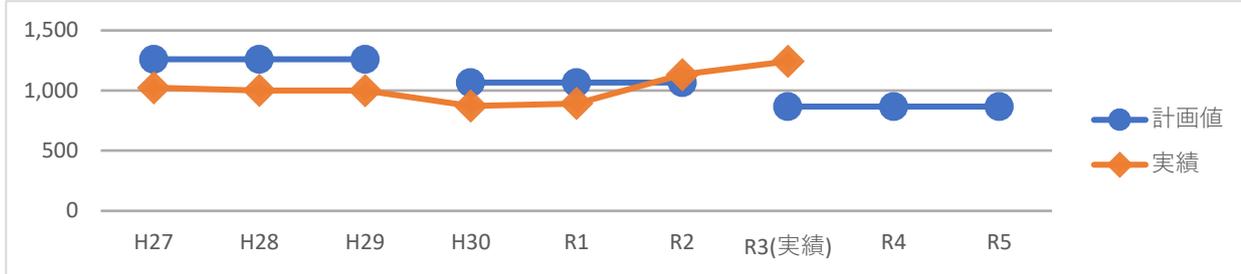
単位：人/年

障がい者 共同作業所移行型	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	—	—	—	18	18	18	12	12	12
実績	18	18	14	14	12	12	12		
対前年比	120%	100%	78%	100%	86%	100%	100%		

令和3年度の利用実績は、新型コロナウイルス感染症の影響で減となったため、計画を下回りました。

単位：回/年

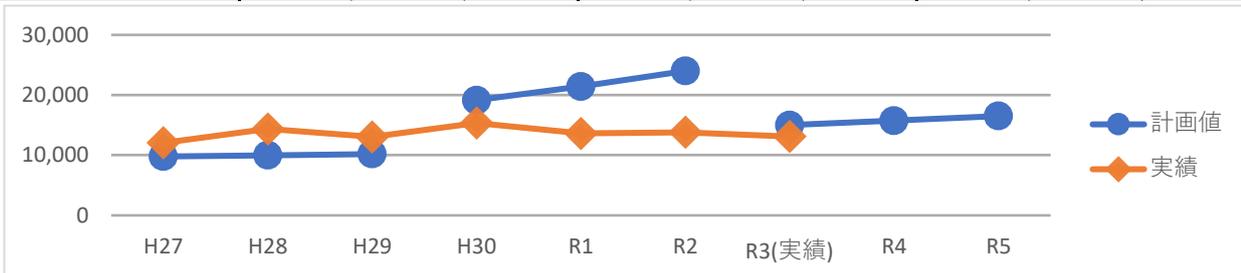
訪問入浴事業	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	1,260	1,260	1,260	1,066	1,066	1,066	867	867	867
実績	1,024	1,001	1,000	872	892	1,132	1,243		
対前年比	99%	98%	100%	87%	102%	127%	110%		
年間利用者数	16	16	15	14	15	19	19	15	15



利用実績は、計画を上回りました。

単位：時間/年

日中一時支援事業	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	9,792	9,987	10,186	19,130	21,426	23,997	14,997	15,735	16,510
実績	12,056	14,353	13,033	15,348	13,623	13,797	13,115		
対前年比	112%	119%	91%	118%	89%	101%	95%		
年間利用者数	225	241	247	253	266	277	243	301	314



利用実績は計画を下回りました。

単位：件/年

身体障がい者 自動車改造費 助成事業	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	—	—	—	—	—	—	11	12	13
実績	13	13	8	11	9	12	7		
対前年比	110%	100%	62%	138%	82%	133%	58%		

単位：件/年

身体障がい者 自動車運転免許 取得費補助事業	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	—	—	—	—	—	—	4	4	5
実績	2	0	0	0	4	2	1		
対前年比	67%	0%	0%	0%	400%	50%	50%		

自動車改造費助成事業及び自動車運転免許取得費補助事業については、障がい者の就労を含めた社会参加促進を目的としており、今後積極的に事業の周知を図っていく必要があります。

出雲市独自のサービス

○障がい者福祉タクシー

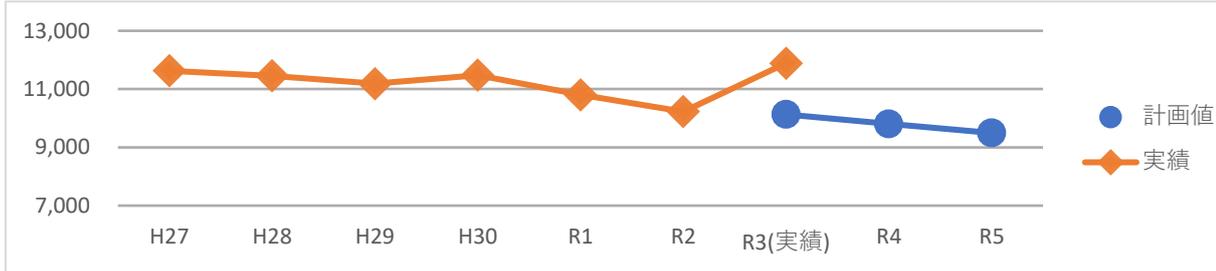
単位：枚/年

一般用	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	—	—	—	—	—	—	36,889	36,111	35,350
実績	42,388	41,831	40,688	38,195	38,494	35,944	34,450		
対前年比	99%	99%	97%	94%	101%	93%	96%		
年間利用者数	1,625	1,605	1,586	1,583	1,592	1,527	1,458	1,568	1,560



単位：枚/年

車いす用	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	—	—	—	—	—	—	10,128	9,807	9,495
実績	11,628	11,453	11,188	11,477	10,803	10,225	11,887		
対前年比	92%	98%	98%	103%	94%	95%	116%		
年間利用者数	291	275	264	269	254	274	300	230	222



単位：枚/年

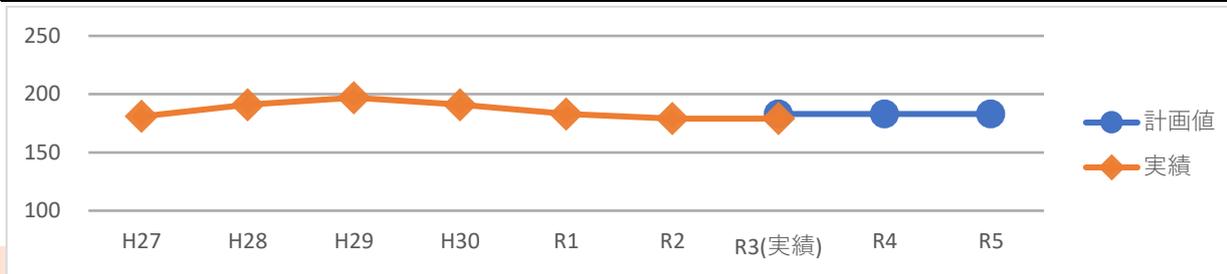
ストレッチャー用	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	—	—	—	—	—	—	2,986	3,042	3,098
実績	2,697	2,770	2,691	3,535	2,878	1,969	1,930		
対前年比	103%	103%	97%	131%	81%	68%	98%		
年間利用者数	41	38	43	40	38	43	36	35	34



新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響で、「一般用」は令和2年度から交付実績が減少しています。令和2年度に「車いす用」の利用について、予約が取りづらいとの意見を受け、一般用で利用できるよう改正した結果、「車いす用」の交付が増加しましたが、いずれも計画値を下回りました。

単位：人/年

腎機能障がい者 通院費助成事業	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	—	—	—	—	—	—	183	183	183
実績	181	191	197	191	183	179	179		
対前年比	100%	106%	103%	97%	96%	98%	100%		



令和2年度～3年度については、減少が続きました。未申請の対象者に対して、事業の周知を行っています。

単位：人/年

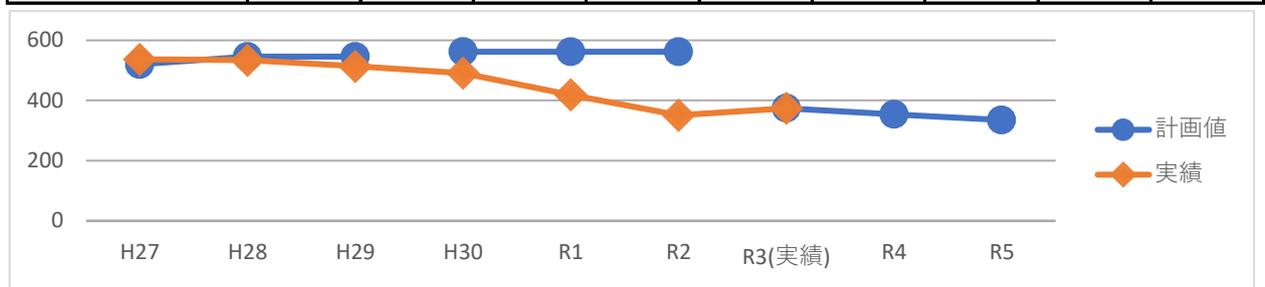
自立支援医療費 助成事業	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	—	—	—	—	—	—	5,175	5,409	5,654
実績	3,974	4,274	4,294	4,615	4,736	5,332	4,979		
対前年比	100%	108%	100%	107%	103%	113%	93%		

自立支援医療の中でも精神通院医療の受給者が、令和2年度から急増していることに伴い、助成者数が大幅に増加しました。育成医療及び更生医療の受給（助成）者数については、大きな変動はありませんでした。

障がい児通所支援

単位：人日/月

児童発達支援	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	520	546	546	562	562	562	374	354	335
実績	537	534	514	491	419	351	374		
対前年比	97%	99%	96%	96%	85%	84%	107%		
年間利用者数	111	117	126	124	120	122	106	126	128



令和3年度は昨年度より利用量は増加しましたが、利用者数は減少しました。

単位：人日/月

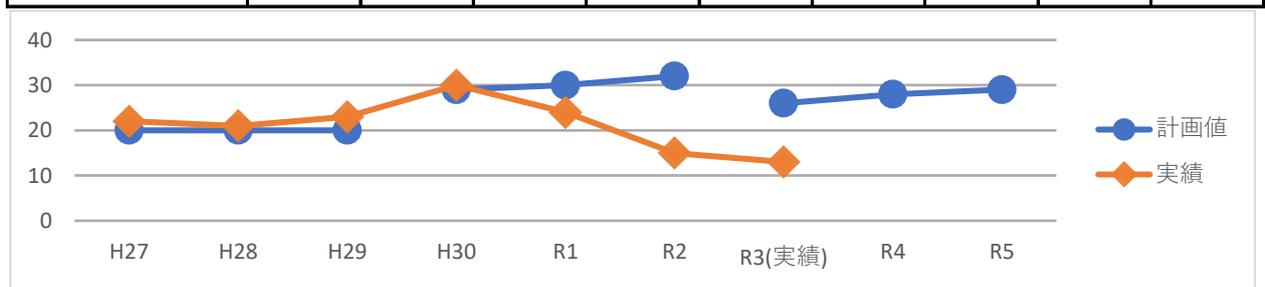
放課後等 デイサービス	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	2,160	2,260	2,360	3,698	3,698	3,846	4,412	4,544	4,635
実績	2,611	3,074	3,438	3,855	4,040	4,359	4,367		
対前年比	121%	118%	112%	112%	105%	108%	100%		
年間利用者数	256	275	302	340	374	413	417	421	429



利用者数・利用量ともに増加傾向が続いていましたが、令和3年度はほぼ前年同となりました。

単位：人日/月

保育所等 訪問支援	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	20	20	20	29	30	32	26	28	29
実績	22	21	23	30	24	15	13		
対前年比	116%	95%	110%	130%	80%	63%	87%		
年間利用者数	22	21	23	30	24	15	13	27	28



新規利用者が少なく、計画を下回りました。

単位：人日/月

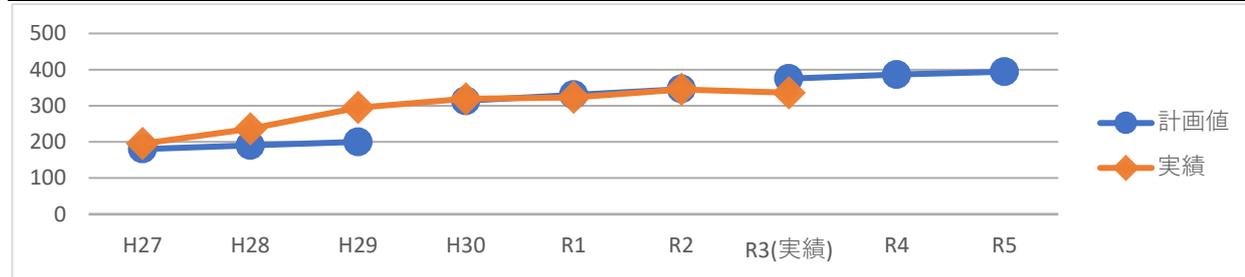
居宅訪問型 児童発達支援	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	—	—	—	3	3	3	0	0	3
実績	—	—	—	0	0	0	0	0	0
対前年比	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年間利用者数	—	—	—	0	0	0	0	0	0



市内にサービス提供事業所が無く、利用実績はありません。

単位：人/月

障がい児 相談支援	第4期計画			第5期計画			第6期計画		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(実績)	R4	R5
計画値	180	190	200	314	330	346	375	386	394
実績	195	236	295	319	323	345	336	386	394
対前年比	105%	121%	125%	108%	101%	107%	97%	—	—
年間利用者数	359	396	422	462	467	510	529	535	546



令和3年度は、利用者数は増加していますが実績では減少しました。

令和3年度 サービス調整会議状況報告

開催日	内 容	参加者
4/26	1 行政説明 2 研修会「ケアガイドライン」 相談支援事業所ふあっと 足立相談支援専門員 3 意見交換 「相談支援専門員として大切にしなければいけないこと、明日から何を大切にしていくか」	63名
5/26	1 研修会「出雲市の防災対策について」 講師 出雲市防災安全部防災安全課 倉瀧主任 2 意見交換 「支援者として取り組んできたこと、これから取り組むべきこと」	44名
6/22	1 災害アセスメントについて 2 意見交換 「災害アセスメント票を活用して、地域課題を考える」	45名
7/27	1 出雲市障がい者施策推進協議会(成り立ち・役割) について 2 専門部会の活動計画 ・つながる専門部会 ・くらし専門部会 ・じりつ専門部会 ・こども専門部会 ・ささえる専門部会 ・そうだん専門部会 ・就労支援ネットワーク会議 3 質疑応答 * 相談支援従事者初任者研修受講 11名	59名
8/25	1 令和3年7月大雨災害対応についての意見交換 ① 各地域の状況 ② 対応状況 ③ 災害アセスメント票の活用について 2 災害アセスメント票作成に向けて	44名
9/28	「ささえ愛サポート」よりよい連携のために 1 登録短期入所事業所の紹介 2 質疑応答 * 登録短期入所事業所サービス管理責任者 7名参加	58名

開催日	内 容	参加者
10/19	<p>地域資源の活用について</p> <p>1 地域資源一覧の活用状況について</p> <p>2 意見交換</p> <p>—モデル事例(障がい者・障がい児)で意見交換—</p> <p>* 相談支援従事者現任研修受講 13 名</p>	49 名
11/24	<p>障がい者虐待防止・権利擁護研修</p> <p>1 講演「障害者虐待防止法と通報」</p> <p>島根県障がい者虐待防止専門職チーム 弁護士 金山 孝治 氏</p> <p>2 意見交換</p> <p>「金山弁護士の講演を聞き、感じたこと」</p> <p>「今後、相談支援専門員としてどう対応するか」</p> <p>* 講演のみ、障がい者相談員 11 名参加</p>	46 名
12/21	<p>出雲市地域生活支援拠点(ささえ愛サポート)の稼働状況について</p> <p>1 緊急時の受け入れと対応(SOS)の流れについて</p> <p>相談支援事業所ハートピア出雲 萬代相談支援専門員</p> <p>2 意見交換</p> <p>「登録短期入所事業所に対する質問のまとめについての感想や意見」</p> <p>「利用登録や登録票作成までの流れでの課題や意見」</p>	61 名
1/25	<p>学齢期の支援に関する勉強会</p> <p>1 出雲市教育委員会 児童生徒支援課</p> <p>特別支援教育課 係長 井上 裕史氏</p> <p>2 島根県東部発達障害者支援センターウイッシュ 心理スタッフ</p> <p>公認心理師・臨床心理士 岩橋 由佳 氏</p> <p>3 質疑応答</p> <p>* 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで開催</p>	50 名
2/22	新型コロナウイルス感染拡大のため中止	—
3/22	新型コロナウイルス感染拡大のため中止	—

令和3年度 運営会議状況報告

- 1 開催頻度: 月1回 サービス調整会議 終了後
1月は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止
- 2 検討内容:
 - ① 専門部会の活動報告、懸案事項の検討
 - ② サービス調整会議の年間計画の作成
 - ③ サービス調整会議の内容について
- 3 メンバー: 委託相談支援事業所、専門部会部会長、市福祉推進課
司会は、機能強化相談支援事業所(ハートピア出雲・ふあっと)

出雲市障がい者虐待防止センター実績

1 虐待通報件数及び虐待認定件数の推移

通報件数は、年々増加傾向にあり、令和2年度は過去最多件数だったが、令和3年度は例年並みである。

①虐待通報件数(虐待者区分別)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	合計
養護者	9 (0)	8 (0)	11 (0)	8 (0)	4 (0)	7 (0)	7 (0)	13 (0)	16 (1)	9 (0)	92 (1)
施設従事者	3 (0)	1 (0)	4 (0)	4 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (0)	7 (0)	9 (3)	2 (0)	37 (3)
使用者	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	8 (0)
その他	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)
合計	14 (0)	11 (0)	16 (0)	12 (0)	7 (0)	9 (0)	10 (0)	20 (0)	26 (4)	15 (0)	140 (4)

※()内は18歳未満の障がい児

障がい種別では、知的障がいが多い状況である。

②虐待通報件数(障がい別)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	合計
身体障がい	4 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	5 (0)	4 (0)	3 (0)	23 (0)
知的障がい	7 (0)	6 (0)	7 (1)	7 (0)	8 (0)	3 (0)	6 (0)	12 (0)	14 (3)	6 (0)	76 (4)
精神障がい	5 (0)	5 (0)	5 (0)	5 (0)	1 (0)	5 (0)	3 (0)	6 (0)	9 (0)	4 (0)	48 (0)
不明	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (0)	4 (1)
合計	16 (0)	11 (0)	16 (1)	12 (0)	10 (0)	9 (0)	11 (0)	24 (0)	28 (4)	14 (0)	151 (5)

※()内は18歳未満の障がい児

※重複あり

令和2年度養護者からの虐待では、母、夫、義父、祖父母、きょうだいからの虐待を認定した。施設従事者からの虐待は、県外の入所施設での虐待認定を行った。令和3年度は、養護者による身体的虐待1件の虐待認定を行った。

③虐待認定件数(虐待者区分別)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	合計
養護者	6 (0)	7 (0)	6 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	5 (0)	5 (0)	1 (0)	42 (0)
施設従事者	0 (0)	1 (0)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	9 (1)
合計	6 (0)	8 (0)	8 (1)	4 (0)	3 (0)	4 (0)	4 (0)	7 (0)	6 (0)	1 (0)	51 (1)

※()内は18歳未満の障がい児

④虐待認定件数(虐待内容別:養護者)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	合計
性的虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0)
放棄・放置 (ネグレクト)	3 (0)	1 (0)	2 (0)	0	0	0	0	3	0	0	9 (0)
心理的虐待	1 (0)	2 (0)	6 (0)	0	0	1 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (0)
身体的虐待	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	0	2 (0)	1 (0)	3 (0)	5 (0)	1 (0)	23 (0)
経済的虐待	4 (0)	6 (0)	1 (0)	0	3 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (0)
合計	11 (0)	12 (0)	12 (0)	3 (0)	3 (0)	5 (0)	3 (0)	10 (0)	5 (0)	1 (0)	64 (0)

※()内は18歳未満の障がい児

※重複あり

2 通報届出者の状況(養護者からの虐待)

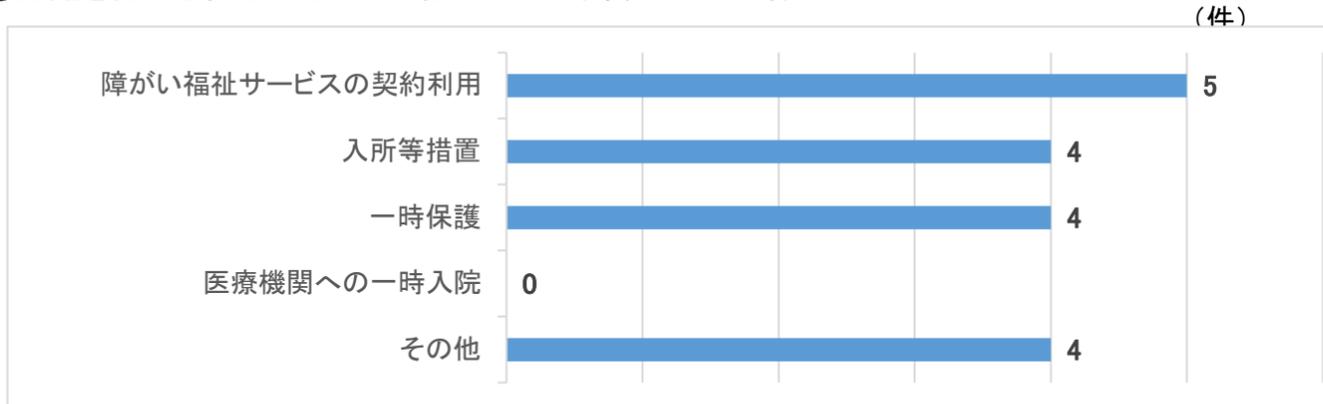
平成24年度からの延件数 (人)

□ は令和3年度人数

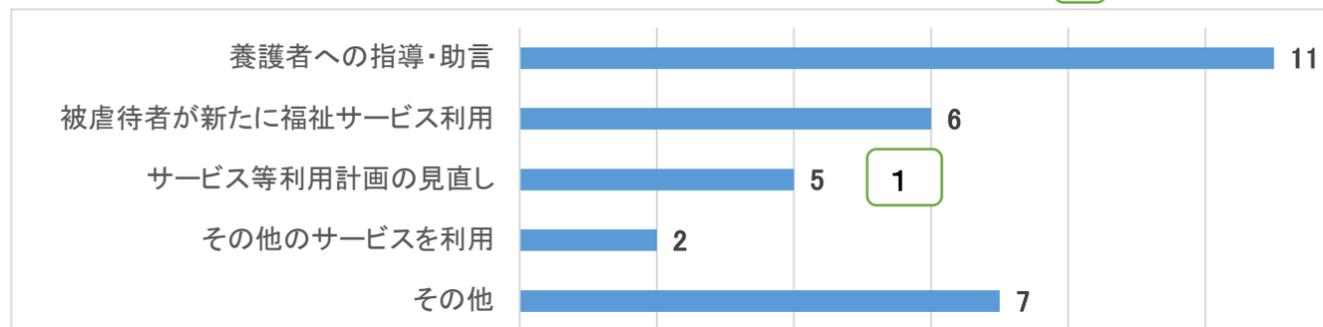


3 養護者からの虐待 対応状況

①分離を行った事例の対応の内訳(平成24年度から延17件) 令和3年度は分離事例無し



②分離を行わない事例の対応の内訳(平成24年度から延31件) 重複あり 1 は令和3年度件数 (件)



4 令和3年度研修及び啓発

①研修

令和3年度障がい者虐待防止研修会の実施(サービス調整会議内で実施)

実施日: 令和3年11月24日

参加者: 57人

内容: 講演「障害者虐待防止法と通報」(講師: 島根県障がい者虐待対応専門職チーム 弁護士 金山孝治氏)

②啓発

広報いずも9月号(8/20発行)に記事掲載を行った。

障がい者週間に合わせ、令和3年12月実施のイベントにおいてチラシを配布した。

令和3年度出雲市障がい者差別相談センター等状況報告

1. 相談件数

年度	出雲市	相談内容			県全体
		不当な差別的取扱い	合理的配慮の不提供	その他	
H28	7件	4件	3件	0件	14件
H29	7件	2件	5件	0件	30件
H30	6件	3件	3件	0件	25件
R元	6件	3件	0件	3件	29件
R2	3件	1件	0件	2件	21件
R3	3件	1件	0件	2件	(現時点で未公表)

2. 啓発等の取組状況

年度	出前講座等	内容	啓発活動	
			内容	件数
H28	11件 (323名)	地区社協、福祉事業所、指定管理者等	3件	ICV「市政のひろば」、障がい者週間、講演会
H29	7件 (248名)	地区社協、福祉団体等	2件	障がい者週間、講演会
H30	8件 (1,157名)	コミセン、市職員、地区社協等	2件	障がい者週間、出雲商工会議所専門部会
R元	8件 (155名)	民間企業、福祉団体等	1件	障がい者週間
R2	5件 (317名)	指定管理者、地区民児協、学校	1件	障がい者週間
R3	8件 (621名)	官公庁、地区社協、学校等	1件	障がい者週間

3. ヘルプマークの交付実績(県内の状況)

平成29年12月(開始)～令和4年3月末時点(島根県障がい福祉課提供)

交付窓口	H29年度計	H30年度計	R元年度計	R2年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2年度計	総計
松江市	32	183	102	79	7	11	7	3	7	5	8	11	10	5	8	19	101	497
浜田市	19	101	14	17	1		3	2	3	3	3		1		1	1	18	170
出雲市	258	402	357	293	25	20	22	11	12	16	17	21	10	23	20	23	220	1,530
益田市	6	63	88	49	1	6	1	9			4	2	5	3	3	4	38	244
大田市	32	54	9	14	1	1		2		1	2		1			2	10	119
安来市	8	36	25	12	1	2	1	2	2	2	2	1		1		2	16	97
江津市	8	13	16	5	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1	10	52
雲南市	16	22	13	122	8	1	3	2	1	3	1	2			1	5	27	200
町村計	26	48	26	29	4	0	2	0	2	3	0	7	2	1	2	2	25	154
島根県	182	70	43	37	1	1	1	1	0	0	31	2	1	3	9	2	52	384
視障協(団体)		49	12	5	2			5	2						2		11	77
総計	587	1,041	705	662	52	43	41	38	29	34	69	47	31	36	47	61	528	3,524

令和3年度手話普及の取組状況報告

出雲市手話の普及の推進に関する条例第6条第1項(施策の実施)

取組内容	R3新規事業	対象者・場所	R3実績(見込)	備考
(1) 手話に触れる機会の拡大を図る施策				
① 「出前講座」の実施		学校等(児童クラブ含む)	15件	H27:3件、H28:5件、H29:8件、H30:8件、R元:11件、R2:14件
		地域・事業所等	18件 226名	H30:21件(642名)、R元:12件(206名)、R2:7件(136名)
(2) 手話を学ぶ機会の確保を図る施策				
① 「手話ミニ講座」の実施		一般市民(初心者コース)	修了 21名	R2:1講座2回で年6講座開催(R2:50名) 修了者へ「手話サポーターバッジ」贈呈 H30:61名、R元:23名
		一般市民(レベルアップコース)	修了 22名	R2:実施なし R元:1講座2回で年1講座開催(2講座予定のところ、定員に満たず1講座のみ)修了者へ「手話サポーターバッジ」贈呈
		親子(小学6年以下)	2回 67名	R2:実施なし R元:夏休みに2回開催(参加者へ「大好き手話」バッジ贈呈) H30:2回(80名)、R元:2回(95名)
② 医療従事者のための手話入門講座		医療関係者	実施なし	R元:1講座(44名)、R2:実施なし
③ 接客で使える手話講座	●	一般市民	1回 16名	2時間の講座
(3) 手話による情報発信及び情報取得の機会の拡大を図る施策				
① 市政のひろば(ICV制作)に手話映像追加		一般市民	5回	R元～1回あたりの放映時間15分に短縮
② 広報いずも 手話枠掲載		一般市民	12回	月1回掲載(コロナ、感染予防、ワクチン接種、効果、安心エチケット、スマートフォン、インターネット、LINE、ZOOM、Twitter、YouTube)
③ 広報掲載の手話をYouTube動画配信		一般市民	12回	
④ 各種イベント等での手話通訳者配置		一般市民	16件 (うち市主催分13件)	H27:43件、H28:47件、H29:39件、H30:39件、R元:49件 R2:9件
⑤ 市長の定例記者会見に手話通訳者配置		一般市民	13回	R2.9月から毎月実施(定例記者会見・臨時記者会見)
⑥ 市長の動画配信に手話通訳者配置	●	一般市民	6回	コロナに関する市民へのメッセージ動画
⑦ 市職員向け手話の動画発信		市職員	12回	R2.7月から毎月実施 (R3:窓口で使える手話)
(4) 手話による意思疎通支援の充実を図る施策				
① 設置手話通訳者数		聴覚障がい者等	3名	H30年度から1名増(3名体制)
② 緊急携帯電話		聴覚障がい者等	282件	H26から実施(R3.1月末登録者数:40名) H26:144件 H27:209件 H28:215件 H29:251件 H30:212件 R元:243件、R2:257件
③ 遠隔手話通訳サービス		聴覚障がい者等	52件	R2.11月から実施(R4.2月末登録者数:24名) R2:25件
(5) 手話通訳者等の育成及び確保を図る施策				
① 手話通訳者養成講習会を目指す学習会		手話奉仕員	8名	手話奉仕員から手話通訳者を目指す人のためのレベルアップ講座R2:12回、5名
② 要約筆記啓発講座		一般市民	実施なし	「気軽に筆談セミナー」 H30:20名 R元:17名、R2:実施なし
③ 手話奉仕員養成講座(2年間) (厚生労働省養成カリキュラムによる)		一般市民	14名	R2:基礎編(26回)
④ 手話奉仕員フォローアップ研修 (厚生労働省養成カリキュラムによる)		手話奉仕員	4回 延44名	R2:2回、延24名
⑤ 要約筆記奉仕員フォローアップ研修 (厚生労働省「要約筆記者養成カリキュラム」に沿った講座)		要約筆記奉仕員	2回 延14名	R2:1回、6名
(6) その他聴覚障がい者の特性に応じた意思疎通支援				
① FAX119		聴覚障がい者等	35名	H24から実施 実績は累計登録者数
② NET119緊急通報システム		聴覚障がい者等	15名	R元.9月から実施 実績は累計登録者数